

令和 2 年 第 1 6 回

## 江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和 2 年 8 月 2 5 日（火）午後 1 時

場 所：第一委員会室

|          |      |
|----------|------|
| 教育長      | 千葉孝  |
| 教育長職務代理者 | 蓮沼千秋 |
| 委員       | 石井正治 |
| 委員       | 庭野正和 |
| 委員       | 古巻勲  |

|     |             |      |
|-----|-------------|------|
| 事務局 | 教育推進課長      | 飯田常雄 |
|     | 学務課長        | 甲斐豊明 |
|     | 指導室長兼教育研究所長 | 近津勉  |
|     | 学校施設課長      | 石塚修  |
|     | 統括指導主事      | 百々和世 |
|     | 統括指導主事      | 千葉一知 |

|    |           |      |
|----|-----------|------|
| 書記 | 教育委員会事務局  |      |
|    | 教育推進課庶務係長 | 杉浦佳之 |
|    | 同 主査      | 志村一彦 |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 千 葉 教 育 長 | <p>開会時刻 午後 1 時</p> <p>ただいまから、令和 2 年第 1 6 回教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日は傍聴のお申し出が多数ございました。傍聴人規則に基づきまして、抽選により 2 0 名を選出いたしましたので、入室を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 教 育 長     | <p>それでは、傍聴人の方の入室を許可いたします。</p> <p>〔傍聴人入室〕</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 教 育 長     | <p>日程第 1、署名委員を決定します。蓮沼委員と古巻委員にお願いをいたします。</p> <p>続いて、日程第 2、議案の審議にまいります。</p> <p>はじめに、第 4 0 号議案、令和 3 年度から令和 6 年度使用中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。</p> <p>令和 3 年度以降、江戸川区立中学校で使用する教科用図書、教科書の採択を行います。教育委員の皆さんには、教科用図書選定資料検討委員会が作成しました選定資料、各中学校からの調査研究報告書、そして、区民の皆様などから寄せられました意見などを参考にさせていただきながら、全ての教科用図書について、時間をかけてじっくりとご検討いただいてまいりました。</p> <p>本日は、教育委員の皆様が発行者ごとに比較・検討された結果を踏まえまして、ご審議をお願いいたします。</p> <p>最初に、国語です。国語の教科用図書は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の 4 社です。</p> <p>学習指導要領では、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することが目標となっております。</p> <p>それでは、審議をお願いいたします。</p> |
| 石 井 委 員   | <p>国語は、論理的な読み方ができることというのが特に大切だと思います。つまり、読む力を身に付けさせることがこれからの国語に必要なと感じております。</p> <p>文章を論理的に理解させるという点から考えますと、三省堂は読み方を学</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|         |                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>ぶということが重視されていて、３年間で多くの種類の読み方を学ぶための教材が用意されているのが良いと感じました。</p>                                                                                                                                                              |
| 古 巻 委 員 | <p>今おっしゃったように、読む力を養うということは大変大事なことだと思います。三省堂もそうですが、光村図書も、「学習の窓」というコーナーで読み方を学ぶ機会を設定していて分かりやすいと思いました。</p> <p>今の子どもたちが学習に取り組みやすいということが極めて大切だと、そういうふうを考えておりまして、各社のＱＲコードの内容に注目をいたしました。そうしたところ、東京書籍と教育出版が、その内容が大変充実していると思いました。</p> |
| 庭 野 委 員 | <p>私も、学習活動について注目しました。新しい学習指導要領で指摘されている「見通しをもって学習活動に取り組み、その取組をしっかりと振り返る」ということが重要だと考えています。</p> <p>そうした点では、東京書籍は「学習の見える化」を図って、全体的に学習活動が構造的に示されていると思います。同じく教育出版も、学習過程の構成が良く考えられていると思います。</p>                                    |
| 蓮 沼 委 員 | <p>いろいろと意見出されているわけですが、論理的に読む力、また学習活動についての話ですが、やはり小学校、中学校、高等学校と段階的に論理的思考力を養うことと、家庭学習でも取り組みやすいかどうかという視点も加えた総合的なバランスの良さを見ていくと、私は光村図書と東京書籍がよいように感じています。</p>                                                                     |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>今、様々なご意見が出ておりますが、論理的に読む力が大切であるという、そういった意見が特に重要だと考えますが、その点につきましていかがでしょうか。</p>                                                                                                                          |
| 古 巻 委 員 | <p>論理的に読む力を身に付けさせるためには、その文章量や取上げる題材が大切になりますね。</p> <p>光村図書は、読み応えがある題材と文章量になっています。三省堂は、説明的文章の取扱いが多いように感じました。</p>                                                                                                              |
| 石 井 委 員 | <p>読む力につきましては、生徒が親しみやすい作品、もっと読んでみたいと</p>                                                                                                                                                                                    |

|         |                                                                                                                                                                                                                  |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 蓮 沼 委 員 | <p>思う作品が掲載されていることも大切だと考えております。光村図書にそういった作品が多い印象があります。</p> <p>読む力を培うためには、その足掛かりとして、やはり視覚教材など生徒たちが入りやすい工夫があるほうが良いと思います。</p> <p>その点で、QRコードの内容が充実している東京書籍、教育出版は、授業の導入部分などで役立つかもしれないと思います。</p>                        |
| 庭 野 委 員 | <p>私は、また別の視点から考えてみました。江戸川区が取り組んでいる施策のSDGs、あるいは区独自教科である読書科についての視点も大切だと思います。</p> <p>この点から考えますと、SDGsを最も顕著に取上げているのは教育出版です。また、「読書コーナー」でその本のあらすじを示したり、作家についての資料を載せたりしていて、生徒が自ら進んで本を選び、読書に親しむことができるような工夫をしていると思います。</p> |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>一通り皆様のご意見を伺いますと、論理的に読む力を身につけるための学習活動、そして、取り上げている題材、江戸川区の取組などを鑑みますと、教育出版と光村図書の2社が候補として絞られてきているのではないかと思います。この2社で議論を進めていってもよろしいでしょうか。</p>                                                     |
| 石 井 委 員 | <p>私も、それがよろしいかと思います。2社とも、それぞれの工夫が見られるように感じます。光村図書には、「思考の地図」というページがあることで、魅力的な作品が豊富なことなど、論理的に読む力を育てる姿勢が感じられます。論理的に読む力をより身につけやすいのではないかと思います。また、教育出版の「学びナビ」も良いと思います。文章の読み方に触れられていて、学びやすさが感じられます。</p>                 |
| 古 巻 委 員 | <p>私も、教育出版の「学びナビ」、これが大変印象に残っておりまして。というのは、実社会で必要とされる能力、それを鍛えるという意味では、いわゆる論理的な読み方や考え方というものをしっかり学ぶことができるようになっていて、読む力を身につけるための学びがしっかりとできそうだなと、そういう感じがいたしました。</p>                                                     |

|         |                                                                                                                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 蓮 沼 委 員 | 私は、光村図書の１年生での「読書を楽しむコーナー」というのはとても充実していると感じました。江戸川区の特色でもある読書科につなげやすいのではないかと、そのように思っています。読書好きの生徒、増やせそうな印象があります。                                                     |
| 庭 野 委 員 | 私は、教育出版は情報の扱いについて、その項目について、原因と結果である意見と根拠、そういったものの内容が豊富になっております。よって、論理的に読む力というのは、教育出版でも十分つくと考えられます。加えて、先ほどお話ししましたがけれども、ＳＤＧｓや読書教材について、ともに充実している点も魅力的だというふうに感じております。 |
| 古 巻 委 員 | 私もそう思います。教育出版は、まさにＳＤＧｓとか、それから読書科というふうに、江戸川区の特徴に合う教材が多いと思います。巻末にある索引も、各社のやつを比べてみたのですが、教育出版は５０音になっていて、これもまた大変引きやすいなということで、いいのではないかなというふうに思いました。                     |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆様のご意見を伺いました。論理的に読む力を身につけるための学び方や、さらには、江戸川区の取組との関連性などから総合して考えますと、本区の国語の教科用図書としましては、教育出版がふさわしいということではないでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>      |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の国語の教科用図書につきましては、教育出版といたします。</p> <p>次に、書写です。書写も、国語と同様、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の４社となっております。</p> <p>それでは、審議をよろしくお願いいたします。</p>                                   |
| 蓮 沼 委 員 | <p>新学習指導要領では、身近な文字を行書で書くこと、読みやすく速く書くこと、目的に応じて楷書または行書を選んで書くこと、文字文化の豊かさに触れ、効果的に書くことの力を養うことが示されています。</p> <p>私はこの中で、行書の取扱い方がポイントになると考えますが、現場の先</p>                    |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | <p>生方は教育出版、あるいは光村図書を推す声が多いように思います。</p> <p>ＩＣＴ機器が発達している世の中で、文字を書くということをしっかりと学び、経験してほしいと私は考えております。そういう点から見て、どの教科書なら字を書きたくなるかという視点で教科書を見比べました。</p> <p>私は、光村図書の教科書が書きたくなるような構成だと思いました。教育出版は、書写に興味のある生徒にとって、とても魅力的な内容が充実していると思います。三省堂は、コンパクトにまとまっているのが良いと思いました。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>東京書籍について申し上げますと、取上げている手本の数とか文字文化の豊かさに触れる内容が充実しているのではないかと思います。そういうことから、現場で教える先生方も、どのような内容を重点的に教えるか選びがいがある感じがいたしました。</p>                                                                                                                                      |
| 石 井 委 員 | <p>補足的に。東京書籍はページ配列が分かりやすく、「学習の見える化」がされております。さらには、目標も右端に明確に示されておりまして、扱いやすそうです。若手の先生が多い江戸川区では、先生方も扱いやすい教科書かどうかという視点も重要だと思います。そういう意味からいきますと、学習の過程が分かりやすく示されている教科書がよろしいかなと思います。</p>                                                                                |
| 庭 野 委 員 | <p>今の石井委員のご意見にありました、先生方が扱いやすいということから考えますと、書写では、文字を書くときの姿勢ということも重要視されるのではないかなと思います。基本的な姿勢について、見本の写真が各社とも載っておりますけれども、会社によって若干書き方が異なっています。よく先生方は、「背筋を伸ばして書きなさい」と教えると思いますけれども、そのイメージにぴったりくるのは、三省堂と教育出版だというふうに私は見ました。</p>                                           |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>それぞれ意見が分かれているようですけれども。それでは、生徒にとっての使いやすさという点ではいかがでしょうか。</p>                                                                                                                                                                               |
| 庭 野 委 員 | <p>特に行書の見本のページの構成が良いと思ったのは、教育出版です。生徒にとって、見やすく学びやすいというふうに感じました。</p>                                                                                                                                                                                             |

|         |                                                                                                                                                                                                |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 古 巻 委 員 | <p>光村図書も、半紙サイズの手本に書き順がセットでついているのは使いやすいと思います。区民の皆さんの声に注目いたしますと、教育出版が、字も少し大きめで使いやすいのではないかという意見が多いように思いました。また、右利きだけではなくて、左利きの生徒にも配慮しているというのは、教育出版と東京書籍ではないかと思います。</p>                             |
| 蓮 沼 委 員 | <p>どの教科書も甲乙つけがたいと思いますけれども、見やすさの点、発展的に行書を学べるという点では、教育出版が手本として少し使いやすさでリードしていると思います。</p>                                                                                                          |
| 教 育 長   | <p>皆様のご意見を伺いました。指導のしやすさや、生徒が手本として使いやすい、学びやすいなどの点から総合的に考えますと、教育出版がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                   |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の書写の教科用図書につきましては、教育出版といたします。</p> <p>次に、社会（地理的分野）です。地理は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の４社です。</p> <p>学習指導要領の改訂に伴いまして、地域調査の手法の再構成、地球規模の課題等を主題とした学習、防災学習の重視を図っております。</p> <p>それでは、審議をお願いいたします。</p> |
| 石 井 委 員 | <p>私は、地理的分野という教科について考えたとき、自分がどこにいるのかということを実感させる、実感してもらう、そういう必要があると思っております。それは日本の中のどこなのか、また、世界の中のどこなのか、世界からの視点というのも大切だと考えております。</p> <p>そういった意味合いで領域の話になるわけですが、国境がはっきりしているものがよろしいかと思います。</p>     |
| 古 巻 委 員 | <p>その国境の点でいいますと、各社で地図の表し方が異なっております。教育出版、日本文教出版、それから帝国書院は、領海が分かりやすく表示されています。帝国書院は特にはっきりと示されており、国境に位置している島々の写真も大きく分かりやすく掲載されていて良いと思いました。</p>                                                     |

|         |                                                                                                                                                                                            |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 蓮 沼 委 員 | <p>そうですね。やはり、日本の領域について生徒に分かりやすく伝える必要があると思います。</p>                                                                                                                                          |
| 庭 野 委 員 | <p>私は、地域調査について考えたのですが、各社とも、生徒が実際に様々な手法で調査を進め、どのようにまとめて発表するのかという道筋が分かりやすくまとめられていると思いました。</p> <p>各社で調査対象が異なっておりますけれども、中でも帝国書院は、東京都練馬区を調査するようになっておりますので、同じ23区の江戸川区の生徒にとって、親しみやすいと感じております。</p> |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、私からも一言。今、親しみやすさというお話ありましたが、防災学習についてなのではございますけれども、日本文教出版の中では、江戸川区の荒川沿いのスーパー堤防について、写真つきで取り上げられておりまして、小学校でハザードマップを活用した授業を受けている生徒たちにとっては効果が期待できるのではないかと思います。</p>    |
| 蓮 沼 委 員 | <p>扱っている自然災害については、東京書籍と帝国書院は、地震や気象など満遍なく網羅していると感じます。また日本文教出版は、ヒートアイランド現象も加え、防災学習について広く考えられるような内容になっていると思います。</p>                                                                           |
| 古 巻 委 員 | <p>私、SDGsという観点にも注目いたしました。各社とも、自立していくためにはどう課題を解決していったらいいのかということについても考えさせております。例えば、これまでどちらかというと発展途上国、アフリカなどというのは薄い内容でありましたが、今回は、しっかりとそのSDGsという観点からも取上げているということについては、注目いたしました。</p>            |
| 庭 野 委 員 | <p>今のお話ですが、帝国書院では、アフリカの資源と携帯電話の関連を取り上げて、生徒の関心を引く内容になっています。</p> <p>また、日本文教出版では、自由研究として紛争について考えさせるものが良いと思いました。</p>                                                                           |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 蓮 沼 委 員 | <p>私は、やはり生徒が学びやすい教科書、先生方、教員が指導しやすい教科書がベストだと思っています。地理では、図や写真、グラフなどの資料から地域の特徴を見出させる学習がとても大切です。</p> <p>各社ともに、各地の特徴をつかみやすくするために豊富な資料を掲載していますが、中でも帝国書院と教育出版が特に良いと思いました。</p>                                                                                |
| 古 巻 委 員 | <p>各章ごとのまとめ学習のページでは、各社ともに、これまで学んできたことを踏まえて課題にどう取り組んでいくかという内容になっていますが、学習の進め方が細かく提示され、ゴールをイメージしやすいのが、東京書籍と帝国書院だと思いました。</p>                                                                                                                              |
| 石 井 委 員 | <p>視覚的に分かりやすく記述内容も簡潔で、生徒にとっても主体的に学ぶことができる、学びやすいという視点から、帝国書院の教科書は学びやすい教科書だと思います。</p>                                                                                                                                                                   |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆様のご意見を伺い、生徒が主体的・対話的で深い学びを実現するために、資料が豊富で課題解決の問いが分かりやすいなどの視点から総合的に考えまして、帝国書院がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                         |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の地理的分野の教科用図書につきましては、帝国書院といたします。</p> <p>続きまして、社会（歴史的分野）です。社会は、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、学び舎、育鵬社の7社です。</p> <p>学習指導要領の改訂に伴いまして、各時代の特色を捉えまとめる力の育成、課題追求学習の実現、日本の歴史に間接的に影響を与えた世界の歴史との関係性の理解、そして主権者の育成を図っております。</p> <p>それでは、審議をよろしくお願いいたします。</p> |
| 石 井 委 員 | <p>私は、歴史的分野の学習の目的は、昔のことを学び、今に生かすことだと考えております。そのため、今に近いところがどうなっているのかというのがしっかり書いてある必要があると思っています。</p> <p>東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、山川出版社、育鵬社には、</p>                                                                                                           |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 蓮 沼 委 員 | <p>近隣諸国との課題について考えさせるページがあります。特に教育出版の「隣国と向き合うために」というページでは、領海が明確に示されていて良いと感じました。</p> <p>ところで、生徒に時代の特徴をつかませるには、当時の様子をイメージさせやすくすることが何よりも大切です。各社ではイラストを用いて表現しています。帝国書院はタイムトラベル、山川出版社は〇〇世紀の世界、東京書籍、学び舎は各章の最初、育鵬社は「歴史絵巻」がそれに当たります。</p> <p>特に帝国書院は、見開き 2 ページで表現しており、生徒の関心を高める効果が期待できます。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>歴史的分野という教科について考えたときは、過去からの大きな時間の流れから現在があることを実感させることが必要だと思います。そして、その時間軸というのは、どこに出てくるかということ、やはり年表です。年表が見やすいことが大事だと思います。</p>                                                                                                                                                        |
| 庭 野 委 員 | <p>その年表という点でいいますと、各社で年表の表し方が異なっております。ほとんどの教科書は、折り込み式で両面刷りになっているのですが、教育出版は、見開き 2 ページが折り込み式になっていて、それを開くと全ての時代を一度に見通すことができるという点が良いと思いました。</p>                                                                                                                                          |
| 石 井 委 員 | <p>そうですね。ページをめくったりせずに、事件や出来事がいつ起こったのかを見ることができるという点が良いと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                     |
| 庭 野 委 員 | <p>またちょっと視点変えますけれども、各社とも、見開き 2 ページで 1 授業が完結する構成となっていますが、その各ページに時代スケールをつけて、今学んでいる時代がどこに位置しているのかが理解できる工夫をしているのが 4 社ありました。東京書籍は左ページの下、帝国書院と日本文教出版は右ページの横、教育出版はタイトルのすぐ上にありました。</p>                                                                                                      |
| 古 巻 委 員 | <p>別の観点から、SDGs についても、各社ともに扱っております。ただ、その内容には若干差があるように思いました。東京書籍、教育出版、帝国書院は、中学生が現代の諸問題について理解して、これからの時代を築く主権者として課題意識が高められる内容になっていると思いました。</p>                                                                                                                                          |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 蓮 沼 委 員 | 生徒の学びやすさについて見たときには、章末のまとめ学習のページに各社の特徴が表れていると思います。時代の特徴をつかむ学習の進め方が細かく提示されているのが、東京書籍、教育出版、帝国書院の3社で、実際、主体的、対話的で深い学びにつながりやすいという現場の強い声もあります。                                                                                                                                |
| 教 育 長   | ここまでのご意見を聞いておりますと、東京書籍、そして教育出版、帝国書院の3社に絞り込まれてきたように思います。この3社につきまして、他のご意見いかがでしょうか。                                                                                                                                                                                       |
| 石 井 委 員 | やはり生徒が学びやすい教科書、教員が指導しやすい教科書が良いと思います。見開き2ページで1授業が完結する形になっており、生徒が主体的に課題追求しやすい史料や問いが盛り込まれている東京書籍、そして教育出版が良いと感じました。                                                                                                                                                        |
| 蓮 沼 委 員 | 私は、帝国書院の「章の学習を振り返ろう」は時代の特徴を生徒が分かりやすくつかむことができ、良いと思っています。さらには、友達とその時代時代について話し合う場も設定されていて、自分の考えを深められるようになっています。教育出版は、各章のまとめに「時代の変化に注目しよう!」というコーナーで、歴史を時代ごとに分断させず、次章の時代のつながりや変化について考えさせているところが良いと思います。                                                                     |
| 古 巻 委 員 | 今言われた、時代の特徴をつかむという視点でいえば、教育出版は、各単元のタイトルに、それぞれの時代を特徴的に表す工夫がなされていると。例えば、天平時代のことを扱うところが、ほかのところでは、ただ天平時代というタイトルが出ているのですけれども、教育出版の場合は、「シルクロードにつながる道」というふうに、遣唐使と天平時代の特徴というのを一言ですぱっと言っているのですね。全部そうになっています。そういう観点からすると、生徒にとって親しみやすく、分かりやすく、主体的に取り組んでいこうという動機づけにもなるのではないかと思います。 |
| 庭 野 委 員 | <p>今の時代の特徴をつかむというときに、評価が分かれるような史実については、事実を客観的に記載することが必要だと思っています。</p> <p>そういう視点で近・現代史を読んでいますと、教育出版は、それぞれの立場から公平に事実をありのままに述べていると感じます。</p>                                                                                                                                |

|         |                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆様のご意見を伺いまして、生徒が学びやすい工夫がなされている、その時代の特徴などをつかむことができる、そういった点から総合的に考えまして、教育出版がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                      |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の歴史的分野の教科用図書につきましては、教育出版といたします。</p> <p>次に、社会（公民的分野）です。公民の教科用図書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社であります。</p> <p>学習指導要領では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標としております。</p> <p>それでは、審議をお願いいたします。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>公民の学習というのは、社会人を育成する基盤となる学習ですね。社会の仕組みとか歴史との関わりなどを含めた学びの中で、中学生が現実の社会に参画していこうとする態度をどう養っていくか、それが重要なポイントと考えます。そのような視点で教科書を見ていくことが必要だと思いました。</p>                                                                                        |
| 蓮 沼 委 員 | <p>改めて教員の立場から言うと、学習課題の提示の仕方や基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着のための工夫、イラストや図版の多用など、楽しく学ぶための工夫が充実しているという点で、東京書籍、日本文教出版が良くできていると思いました。小学校の学習内容とのつながりもとてもきちんと示されていて良いと思います。</p>                                                                         |
| 石 井 委 員 | <p>私は、帝国書院が良いと感じました。今回の学習指導要領改訂で重視されている、主体的に社会に参画する態度を育てるような作りになっております。特に「アクティブ公民」のコーナーには、社会の問題を多面的に見る、社会に参画するという態度や資質を自然と身につけさせる工夫が見られます。</p> <p>一方、学びやすさでいきますと、自身の学びの積み上げが可視化できる東京書籍も良いと思いました。</p>                                 |
| 庭 野 委 員 | <p>生徒たちには、現代の社会的事象について考えを交流して、多角的な視点</p>                                                                                                                                                                                             |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 古 巻 委 員 | <p>で社会を見る目を養ってもらいたいと思っています。自由社と育鵬社についてですが、領土や戦争、憲法について独特な表現をしていると感じています。子どもたちには、様々な角度から平和で民主的な国家及び社会について議論し、より良い社会を築いてもらえるようにしてもらいたいと考えています。</p> <p>今言われた平和で民主的な社会を考える際には、ぜひオリンピック・パラリンピックについて触れてもらいたい。オリンピックの精神を軸にみんなで議論を深めていく学びというものも大事にしたい。その点では、東京書籍が一步リードしていると思いました。</p> |
| 庭 野 委 員 | <p>教育出版には、学習内容と関連するSDGsの17の目標について、多くのページに記載がありました。江戸川区の施策の方向性を教え、子どもたちに意識を高めてもらうことも大切です。さらには、現代社会の課題のLGBTの視点もあります。この点についても、教育出版は非常に丁寧に扱っている印象を受けました。</p>                                                                                                                      |
| 蓮 沼 委 員 | <p>SDGsを含めて、現代社会の諸課題について触れ、自分たちの将来に向け子どもたちがその解決策を論じ、自分なりの考えを持つということは、中学校段階においてはとても大切な学びとなります。</p>                                                                                                                                                                             |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>今、SDGsの話がありましたけれども、江戸川区においては、区の施策をSDGsの視点で捉え、誰一人取り残さない区政の実現を目指しているところであります。各社でSDGsまたは持続可能な社会という文言は出てきますけれども、その中でも、教育出版はより詳しく扱っているという印象を受けました。</p> <p>また、LGBTの話もありましたけれども、その取上げ方も丁寧で、現代社会の課題を的確に捉えているというふうに感じたところであります。</p> <p>その他の視点での意見、いかがでしょうか。</p>  |
| 石 井 委 員 | <p>公民の学習は、地理や歴史の学習を基盤として、主体的に中学生が学ぶと同時に、学びを深めるという視点が重要だと考えております。</p> <p>そのような点で見ますと、単元の構造化・見える化を行っているという点で、東京書籍には工夫が感じられます。公民の学習の重要性を中学生に十分感じてもらえるのではないかと考えております。</p>                                                                                                         |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 古 巻 委 員 | <p>学びやすいという点では、QRコードによるデジタルコンテンツが充実しているのは、東京書籍ではないかと思います。家庭で学習するときも、非常に効果的に資料収集ができますし、学びやすいのではないかと思います。</p>                                                                                                                                                                                                       |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆様のご意見を伺いまして、社会に参画する態度を生徒に身につけさせるためには、現代の教育課題について丁寧に学びを進めることができることが重要となってきたということでもあります。</p> <p>そうしますと、生徒にとって学びやすい、そして、主体的に学習を進められる、さらには、現代社会の諸問題を地理や歴史、他教科とのつながりを意識しながら学ぶことができる、そういった視点から、公民的分野の教科書につきましては、東京書籍がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の社会（公民的分野）の教科用図書につきましては、東京書籍といたします。</p> <p>次に、地図です。地図は、東京書籍、帝国書院の2社となっております。</p> <p>それでは、審議をよろしくお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                           |
| 古 巻 委 員 | <p>帝国書院は、全体的に見やすい印象です。また、東京書籍は、地名や各種資料など情報量が豊富です。巻末に通常の索引とは別に、資料索引が掲載されており使いやすいのではないかと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                   |
| 石 井 委 員 | <p>地図を見ていきまして、ぱっと地名が見つけやすいデザインなのは、帝国書院だろうと感じました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 庭 野 委 員 | <p>私は、索引に注目をいたしました。東京書籍の情報量の多さは、索引にも表れていると思います。ただ、文字の大きさ、見やすさ、配色などから、帝国書院はすっきりとした印象もあります。</p>                                                                                                                                                                                                                     |
| 古 巻 委 員 | <p>帝国書院には、「東京都の中心部」というページがあります。実は江戸川区が入っているかどうかを見ました。東京書籍は江戸川区が入るほどの広さの地図でした。帝国書院は山手線とその周辺で絞った地図になっていまして、</p>                                                                                                                                                                                                     |

|         |                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | 江戸川区を入れてほしかったなと思いました。                                                                                                                                                                                                |
| 蓮 沼 委 員 | 帝国書院には、「東京都の中心部」のほかに「東京都周辺の地形」というページがあって、そちらに江戸川区が載っているので、私は問題ないかと考えています。加えて、このページでは、江戸時代の海岸線と今の違いを比較でき、東京の歴史が学べるようになっていて、先生方も授業で比較的活用しやすいのではないかと思います。                                                               |
| 石 井 委 員 | 東京書籍と帝国書院の違いがよく表れているページが、鳥瞰図だと思います。東京書籍は、海溝や海嶺の様子が分かりやすく作られているようです。帝国書院は、陸地の様子がイラストなどを使って説明してありますので、分かりやすくなっております。                                                                                                   |
| 庭 野 委 員 | 帝国書院は、世界地図のページを見ていきますと、例えば、アメリカの地図のページに同緯度・同縮尺の日本が書かれておりまして、国の広さを比較しながら学べる仕組みも工夫されていると感じました。また、「大陸から見た日本」というページも、普通の角度とは違う視点から日本を眺めていて、生徒の興味を引く内容だと感じています。                                                           |
| 教 育 長   | 私も、東京書籍と帝国書院について、どのような特徴があるのか見させていただきました。東京書籍のほうには、オリンピック・パラリンピックのページがあるのが特徴的であるなと思いました。また、帝国書院につきましては、防災に関するページが大変豊富であるという印象を受けました。地震につきましても、プレートに由来して地震が発生しているということをしっかりと考えさせる内容であって、防災教育について知識を高めることが期待できると感じました。 |
| 古 巻 委 員 | そうですね。地域防災に力を入れている江戸川区では、地理的側面からもしっかり学ぶことができる帝国書院は良いと思います。                                                                                                                                                           |
| 蓮 沼 委 員 | 私も、生徒たちがやはり小学校から使い慣れているということもあって、帝国書院がいいのかなと思っています。                                                                                                                                                                  |
| 教 育 長   | それでは、地図の見やすさ、そして使いやすさ、地理的側面から防災が学べるページが充実しているといった視点から総合的に考えまして、帝国書院                                                                                                                                                  |

|         |                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                       |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の地図の教科用図書につきましては、帝国書院といたします。</p> <p>次に、数学です。数学の教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社となっております。</p> <p>学習指導要領では、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成することが目標となっております。</p> <p>それでは、審議よろしくお願いいたします。</p>                                 |
| 古 巻 委 員 | <p>小学校の算数から中学校の数学に移行すると、これは私もそうだったのですけれども、学習に対して、数学というものに対してどうしても苦手意識を持ってしまう傾向にある子もいます。</p> <p>そういうことから、私は、小学生が中学校に進学したときの視点から考えてみました。東京書籍と学校図書は、第1学年の教科書に「算数から数学へ」というページを設けていまして、算数からの連続性にしっかりと対応することで、生徒は抵抗感を持たずに学習に入ることができると思いました。</p> |
| 蓮 沼 委 員 | <p>学習への入りやすさという視点から言えば、各単元の導入部分も大切になってきます。教育出版、数研出版、日本文教出版は、新たな単元の学習に入る前に、その単元に必要な既習事項を確認するページがそれぞれあります。数学は積み重ねの教科ですので、このような振り返りのページが、苦手な生徒にとっては安心できると思っています。</p>                                                                         |
| 庭 野 委 員 | <p>東京書籍と大日本図書については、数学と実社会の結びつきを意識した導入になっておりまして、数学を身近に感じる工夫がされていると感じました。</p>                                                                                                                                                               |
| 石 井 委 員 | <p>導入部分も大切です。一方では、学習内容を振り返ったり理解を深めたりするときには、まとめの部分も大切だと感じております。そういった視点で私は、教科書を使って学び直すということで、章末問題や巻末の問題に注目いたしました。啓林館と数研出版は問題の難易度のバランスが良く、数学が苦手な生徒だけでなく、上位層の生徒も十分に満足できる内容になっていると感じました。</p>                                                   |

|         |                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 庭 野 委 員 | <p>多くの中学校では、習熟度別少人数授業が行われていますし、発展問題が充実しているということは大切だと考えています。</p> <p>私は、教育出版の解説が丁寧で分かりやすいなと感じました。</p>                                                                                                                                         |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>反復学習という数学の特性上、学習への入り方や、つまづいたときの戻りやすさ、そういったことは大変重要なことだと思いますね。</p> <p>それでは、今回の改訂ポイントという視点ではいかがでしょうか。</p>                                                                                                                |
| 庭 野 委 員 | <p>今回の改訂で、学習内容に変更や移行のあった、例えばデータの活用の領域に、注目して見てみました。これからの情報化社会において、データを活用していくために必要な基礎・基本を学ぶ大切な領域だからであります。</p> <p>この視点から見ますと、第2学年に新設された四分位範囲や箱ひげ図の学習の導入で、東京書籍、大日本図書、教育出版、数研出版は、ヒストグラムを扱っております。第1学年で学習した内容と結びつけることで、学習に入りやすい工夫がされていると感じました。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>今、庭野委員が言われた四分位範囲と箱ひげ図の学習、新しい改訂のポイントなのですが、面白いのは、東京書籍が実際のコンビニエンスストアのデータを扱っています。領収書を。生徒にとって非常に身近な存在であるコンビニが、実は数学と結びついているのだと。その数学的な活動の楽しさ、面白さ、興味深さを実感できるのではないかなということで、非常に身近に感じる数学ということを評価いたします。</p>                                          |
| 石 井 委 員 | <p>学習指導要領では、日常生活や社会に関わる現象について、数学的な活動を通して学ぶことの重要性が示されております。この観点から見ますと、どの教科書も、身近な題材を数学に結びつける工夫が十分にされていると感じました。</p>                                                                                                                            |
| 蓮 沼 委 員 | <p>数学と実社会のつながりと言うと、教育出版は、全ての章で数学が実社会に利用されている事例を取り上げています。同様に東京書籍は、「学びを広げよう」というページでも、数学が実社会で活用されている例を紹介していますし、大日本図書の「社会にリンク」というページには、数学を仕事で使っている人のインタビュー記事が載っています。どれも生徒たちの学習意欲に</p>                                                           |

|         |                                                                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | つながるいい内容だと思っています。                                                                                                                                                                                  |
| 古 巻 委 員 | 確かに、今言われた大日本図書は、関数の利用とか二次方程式の利用というように、各章に利用のページを設け数学的に考える資質・能力の育成につながる題材を扱っておりますね。                                                                                                                 |
| 石 井 委 員 | 東京書籍が新設した「深い学び」というページも、問題解決や新しい性質を発見する活動につながる題材が扱われておりますので、同様のことが言えるかと思います。                                                                                                                        |
| 蓮 沼 委 員 | 東京書籍は、各章のタイトルも大変工夫されており、生徒の学習意欲につながるような細かい配慮もいろいろされていると感じました。                                                                                                                                      |
| 教 育 長   | 皆様のご意見を伺いまして、導入部分やまとめの内容、そして学びやすさ、目標となる資質・能力の育成につながる工夫という視点から総合的に考えまして、東京書籍がふさわしいということではいかがでしょうか。                                                                                                  |
|         | 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕                                                                                                                                                                                     |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の数学の教科用図書につきましては、東京書籍といたします。</p> <p>次に、理科です。理科の教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社となっております。</p> <p>学習指導要領では、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目標としております。</p> <p>それでは、審議よろしく願いいたします。</p> |
| 庭 野 委 員 | <p>ただいまお話ありました、今回の改訂の重点であります科学的な探究という視点で考えますと、探究の過程については、全社で丁寧な説明がされていると感じました。</p> <p>その中でも、学校図書は探究学習を行う際の留意点について、学年ごとに明確に示されているのがいいなと思いました。</p>                                                   |
| 石 井 委 員 | 今回のキーワードとも言えます探究について、それをどう捉えていくのかというのが重要だと、私は考えております。実験などの結果が出たときに、                                                                                                                                |

|         |                                                                                                                                                             |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>それで終わりにするのではなくて、分かったことから次の疑問が生まれて、また学びがつながっていく、そういうことが大切だと思います。</p> <p>啓林館や教育出版は、この学びのサイクルを十分に意識していると思います。</p>                                           |
| 蓮 沼 委 員 | <p>私は、東京書籍も結論を次の問題へとつなげる展開になっていると思います。探究の流れをフローチャートで提示していて、生徒は見通しをもって学習できると思います。問題提起や実験内容も、生徒の探究心を引き出すものになっています。</p>                                        |
| 古 巻 委 員 | <p>そうした探究の学びというものを、小学校、中学校、次の高等学校へと切れ目なく行えることも大変大事だと思います。</p> <p>そうした系統性を意識しているのが、東京書籍と教育出版、啓林館だと感じました。</p>                                                 |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>学習指導要領の柱となっています、生徒が主体的に学び、知識・技能や思考力、判断力、表現力等を高めていくという視点で考えますといかがでしょうか。</p>                                                            |
| 古 巻 委 員 | <p>その点、東京書籍、教育出版、啓林館は、身近な写真や図、付録などが多数盛り込まれていて、生徒の知的好奇心を育む仕掛けが用意されていますね。</p> <p>学校図書には、考え方を書き込めるホワイトボードが巻末についていて、学習意欲を高めるのに有効だと思いました。</p>                    |
| 庭 野 委 員 | <p>今回の改訂で、また別の視点で、生命尊重と自然環境の保全についての指導が重視されていますけれども、大日本図書や教育出版には「チバニアン」の記載があって、生徒が自然環境や地球の歴史に関心を持つきっかけになると思います。</p>                                          |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、私も一言。生命尊重と自然環境の保全という面から見ますと、各社ともに、防災そして減災について触れていると感じました。中でも大日本図書ですけれども、江戸川区のハザードマップが紹介されていて、生徒にとっても身近で親しみやすく感じるのではないかと思います。</p> |

|         |                                                                                                                                                                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | <p>主体的な学びというような観点で考えてみました。どの社も、生徒が主体的に学びに向かうための工夫がなされております。</p> <p>啓林館は、家庭学習にも使える探究シートがついておりまして、学校の外でも進んで学ぼうとする姿勢が育つと思います。加えて、QRコードから得られる情報が充実しておりまして、学びが広がっていくと思います。</p>                              |
| 蓮 沼 委 員 | <p>今おっしゃられたQRコードの良さで考えると、東京書籍は生徒たちがつまずきやすい問題にDマークをつけて内容を補充して、生徒たちの理解を助けています。また、発展的な学習内容の記述も多く見られるので扱いやすいのかなと考えました。</p>                                                                                 |
| 庭 野 委 員 | <p>ただいまのQRコードの扱い方は、私もそのとおりだと考えておりまして、さらに東京書籍は、全体的にきめ細かな指導内容になっていて、生徒の理解を促していると感じました。例えば、グラフの書き方については、説明を繰り返し行うことで技能を身につけさせるようにしています。</p>                                                               |
| 古 巻 委 員 | <p>今のお二方のご意見にさらにつけ加えれば、東京書籍の場合は、活用型の問題を多く設定したり、結論を生徒自身の言葉で表現させたりするなど、理解の定着だけではなく、思考力とか表現力の向上にも力を入れていて、より生徒の実態に即した内容になっていると思います。</p>                                                                    |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんからの意見をお伺いして、探究の学習過程の生徒への意識付け、自ら学ぶ姿勢を育てたり、また、理解の定着を図って思考力や表現力を伸ばしたりすることができる、そういった点から総合的に考えまして、東京書籍がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> |
| 教 育 長   | <p>それでは、理科の教科用図書につきましては、東京書籍といたします。</p> <p>次に、音楽（一般）です。音楽（一般）の教科用図書は、教育出版、教育芸術社の2社となっております。</p> <p>学習指導要領では、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目標としております。</p>                                        |

|         |                                                                                                                                                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>それでは、審議よろしく願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                |
| 古 巻 委 員 | <p>音楽というのは、表現と鑑賞の二つの活動の柱があります。教育芸術社は、どちらかというとな表現、特に歌唱力に力を入れているのではないかなと。一方、教育出版は、どちらかというとな鑑賞に力を入れているような印象を受けました。</p>                                                                                       |
| 庭 野 委 員 | <p>ただいまの古巻委員の鑑賞というところなのですけども、教育出版は、QRコードからも楽曲を聴くことができる仕組みになっています。音楽の良さや美しさを何回も味わって聴くことができると思います。</p>                                                                                                      |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>私も、QRコードを試してみました。教育出版のQRコードからは映像を見ることができ、資料が充実しているなと感じました。音楽を愛好する心情や豊かな感性を育むことができるのではないかと思いました。</p> <p>教育芸術社のQRコードですけど、こちらは、どちらかというとな説明の資料が多くて、音楽に対する知識を増やすことに重点が置かれているなと感じました。</p> |
| 石 井 委 員 | <p>感性を養うということも、また知識・技能を身に付けさせることも、どちらも大切だと考えております。生徒の資質、能力を育むためには、教えるべきことをしっかりと押さえて、生徒の思考力、判断力、表現力を高めていくということが必須だと思います。</p>                                                                               |
| 蓮 沼 委 員 | <p>そういった力を高めるためには、主体的な学びを生み出すことが重要なわけですけども、その点で考えると、教育芸術社は「My Voice!」というコーナーを設けて、歌唱の表現方法の工夫について生徒にイメージを持たせるようにしています。</p>                                                                                  |
| 古 巻 委 員 | <p>今言われた、生徒に学習のイメージを持たせるという点では、教育出版も「学びのユニット」で何を学ぶかについて明確に示していますね。生徒が見通しをもって学習に向かうことができると思います。</p>                                                                                                        |
| 庭 野 委 員 | <p>学習指導要領で大切にされている、主体的な学びを引き出していくという工夫については、どちらの出版社もされているというふうに思いました。特</p>                                                                                                                                |

|         |                                                                                                                                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>に音楽表現の共通性や固有性について生徒自身に気づかせ考えさせるということが必要なのですけれども、それを表を使って比較させているのは教育出版のほうだと感じました。</p>                                                                                                           |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>今回の改訂の重点の一つであります、生活や社会における音楽の意味や役割を感じさせるという点につきましてはいかがでしょうか。</p>                                                                                                            |
| 石 井 委 員 | <p>教育芸術社は、どの学年にも「音楽ってなんだろう？」というページを設けて、音楽がこれまでに果たしてきた役割や日常生活における音楽の意味を生徒たちに問いかけております。</p>                                                                                                         |
| 蓮 沼 委 員 | <p>教育出版には、「作者の思いにふれる」、「私たちのくらしと音楽」という記事が掲載されています。それを読んでもみると、音楽をより身近に感じ、自分たちの生活に音楽が欠かせないことを生徒たちは実感できるのではないのでしょうか、そのように思います。</p>                                                                    |
| 庭 野 委 員 | <p>加えまして、そのほか教育出版には、楽曲ゆかりの地の写真を多数掲載し、日本の自然や四季の美しさを表現しています。生徒がより一層、我が国や郷土の伝統音楽の良さを味わい愛着を持つことができると感じました。</p>                                                                                        |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆様のご意見を伺いますと、生徒の主体的な学びを促し、音楽と豊かに関わる資質・能力を育てるという点から総合的に考えまして、教育出版がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の音楽（一般）の教科用図書につきましては、教育出版といたします。</p> <p>次に、音楽（器楽）です。音楽（器楽）の教科用図書は、教育出版、教育芸術社の２社となっております。</p> <p>学習指導要領では、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目標としております。</p> <p>それでは、審議よろしく願いいたします。</p> |

|         |                                                                                                                                       |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 古 巻 委 員 | これも前の音楽（一般）と同じように、二者択一で甲乙つけがたくて、はっきりいって悩ましいのですけれども、どちらも学習指導要領に則った内容構成になっております。それぞれの楽器の奏法についても、2社とも写真や図を多く取り入れていまして、分かりやすく提示していると思います。 |
| 蓮 沼 委 員 | そのとおりで、楽器の弾き方については、両社とも生徒が見やすい工夫をしていると思います。例えば教育芸術社のほうは、図の向きが奏者の視点から描かれていますし、また教育出版は、運指表やコード表を大変大きく掲載して、見やすくなっています。                   |
| 古 巻 委 員 | 確かにそのとおりで、教育出版は、演奏の仕方を見て学ぶだけではなくて、QRコードから直接音を聞いて体験できますね。耳からも繰り返し学ぶことができ、これも大事な要素かなと思います。                                              |
| 庭 野 委 員 | 私は、取り扱っている楽器の種類を見て考えました。教育出版は、和楽器について丁寧に扱っています。家元の言葉が掲載されておりまして、演奏者の思いや演奏方法のこつを知ることができます。本区で独自に実施している「日本のしらべ」と関連づけて学習できるのではないのでしょうか。  |
| 石 井 委 員 | 教育芸術社も、和楽器のページに各エキスパートからのメッセージが掲載されております。それぞれの楽器の魅力について触れられていて、生徒の意欲が高まるものと考えております。                                                   |
| 蓮 沼 委 員 | 教育出版のほうは、吹く、弾く、打つといった奏法の種類ごとにまとめて掲載しています。各楽器の特徴の共通性や固有性に気づかせる配列になっていると思います。                                                           |
| 教 育 長   | 器楽については、技能の差が生じやすく、苦手意識を持つ生徒も出てくるのではないかと思います。そのため、どの生徒にも音楽表現の良さや喜びを感じてもらえるように指導していくことが、大事なことだと思っております。その点でいかがでしょうか。                   |
| 石 井 委 員 | 生徒が演奏する機会が最も多いのは、リコーダーだと思います。教育出版は、リコーダーの学習を四つに分けて段階を踏んで学べるようになっており                                                                   |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 古 巻 委 員 | <p>ます。教育芸術社は、リコーダーの指導場面で、生徒たちになじみのある楽曲を多く扱っております。どちらも苦手意識を軽減できると思います。</p> <p>教育長のおっしゃった、音楽表現の良さ、喜びを感じてもらえる指導をしていくにはどうかという点ですけれども、教育芸術社は、生徒の興味を引くような、今、石井委員のおっしゃった、様々なジャンルとか編成の合奏曲を掲載しています。これは評価できると思います。一方、教育出版は、個別に演奏する楽器だけではなくて、アンサンブルで使用する楽器について取り上げています。生徒たちに音を重ね合わせることの心地良さを感じさせようとする工夫を感じますね。</p> |
| 蓮 沼 委 員 | <p>加えて、教育出版は「音のスケッチ」という創作教材を扱っています。生徒の協働的な学びにつながり、音楽表現の楽しさを味わうことができると思います。</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| 庭 野 委 員 | <p>私は、資料の充実度というところからも考えてみたいと思います。教育出版は、日本の楽器だけではなくて、世界の楽器についても多く掲載しておりまして、楽器の背景にある文化とか伝統について考えさせようとしています。生徒たちの異文化への理解を促すものだと感じました。</p>                                                                                                                                                                  |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんの意見をお伺いしますと、音楽表現の楽しさを実感させ、日本や世界の音楽文化への関心を高めるという点などから総合して考えまして、教育出版がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                             |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の音楽（器楽）の教科用図書につきましては、教育出版といたします。</p> <p>次に、美術です。美術は、開隆堂、光村図書、日本文教出版の３社となっております。</p> <p>学習指導要領では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目標としております。</p> <p>それでは、審議をよろしくお願いいたします。</p>                                                                                 |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 古 巻 委 員 | <p>この三社ともに、小学校との連続性を意識して作られていると思います。また、美術作品を扱うということで、どの教科書も、非常に画像が鮮明で迫力があります。大きなのですけれども、光村図書がA4判の大きさですね。それから、開隆堂と日本文教出版はA4判のワイド判になっています。やはり、ワイド判のほうが迫力があって、美術作品の魅力が伝わりやすいように思いました。</p>                                                                                                                                                                                       |
| 蓮 沼 委 員 | <p>私はこの中で、日本文教出版が美術の世界へ誘うという点で、とても丁寧に作られていると感じました。1年表紙のフェルメールの作品は原寸大で、思わず引き込まれますし、2・3年では、上下巻ともに原寸大資料が用意されています。裏表紙に自分のマークを書くことができるのも、生徒たちの意欲を引き出す工夫としてとても面白いなと感じました。</p>                                                                                                                                                                                                      |
| 石 井 委 員 | <p>私も、日本文教出版と開隆堂は一つ一つの写真が大きく鮮明で、美術の魅力を伝えるという意味で良いと思いました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 庭 野 委 員 | <p>私も、どちらかというともA4ワイド判のほうが、美術作品の魅力がより生徒に伝わると思いました。一方で、光村図書も、版画作品の紙質を工夫していたり、ピカソのゲルニカを4ページ見開きで取り上げたりということで、サイズの小ささをカバーしようとする努力が見えます。</p>                                                                                                                                                                                                                                       |
| 教 育 長   | <p>見比べてみますと、光村図書は、2・3年のレオナルド・ダ・ヴィンチの最後の晩餐にトレーシングペーパーが一緒に重ねて添えられてありまして、それを使って消失点を書き込めるという工夫がされていて、とても面白いなと思いました。ほかにも生徒が興味を持つような錯視、見間違いをするような絵が取り上げられていたり、また、風神雷神図についても、4ページの見開きで、彫刻と対比させながら取り上げられております。そういった工夫がされていると思いました。また、葛飾北斎の版画絵についても、これも原寸大で取り上げられてありまして、とても迫力があるというふうに思ったところです。</p> <p>また、開隆堂については、写真が多くて迫力があり、説明がしっかりと細かく記載されていて、これは非常に生徒たちも分かりやすいのではないかなと思いました。</p> |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | <p>ちょっと別な観点から申し述べさせていただきます。</p> <p>教科書の編成という視点で考えるために、各社の編成趣意書を拝見いたしましたが、光村図書は、そこから「美術を通して人生を見よう」というようなメッセージが読み取れました。美術を生き方として捉えている点が良いと思いました。</p>                                                                                                                                                                        |
| 古 巻 委 員 | <p>確かにそのとおりで、学習指導要領の目標にもございますが、美術を学ぶということは、感性を磨き、生活を豊かにするものだと考えます。そういった意味では、日本文教出版は、3年間を通して生活や環境との関わりがバランスよく配置されていると思います。日本文教出版の場合は、1冊目が「出会い」、そして、2冊目が「実感と広がり」、そして、3冊目が「探究と未来」ということで、副題がついています。非常にコンセプトがしっかりしています。何より表紙と副題がぴったりと合っています。開隆堂は2冊ございまして、「美術と創造」、それから「探求と承継」という副題がついているという意味では、両社とも学ぶコンセプトがしっかりしていると感じました。</p> |
| 教 育 長   | <p>今お話ありましたけれども、私も、日本文教出版は小学校からの接続から中学2・3年生としての深まりまでが上手に構成されていると思いました。学びの積み重ねが明確になっておりまして、教員にとっては指導がしやすいのではないかなと思ったところです。</p>                                                                                                                                                                                             |
| 庭 野 委 員 | <p>私も、古巻委員や千葉教育長がおっしゃるように、日本文教出版は、3冊組みの意味合いというものがしっかりできているなと感じました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 古 巻 委 員 | <p>ちょっと細かいところなのですが、QRコードの内容も、日本文教出版がシンプルで見やすいと思います。開隆堂も良くて、海外の美術館については海外サイトにつながり、工夫されていると思いました。</p>                                                                                                                                                                                                                       |
| 蓮 沼 委 員 | <p>私も、開隆堂の海外サイトへのリンクは、美術館に興味を持った生徒がより理解を深めるものになっていて、とても良いと思います。</p> <p>日本文教出版のほうは、判も大きく迫力があって、生徒の発達段階にに応じて美術の魅力を発見し、広げ、深めていくという過程が丁寧に作られているという、学校の先生方の意見が多いということも事実です。</p>                                                                                                                                                |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教 育 長   | <p>今いろいろご意見伺いましたけれども、絵が大きくて迫力があると、そして、生徒の発達の段階に応じて美術の魅力を発見し、広げ、そして深めていく過程が丁寧に作られているという点におきまして、日本文教出版がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、本区の美術の教科用図書につきましては、日本文教出版といたします。</p> <p>次は、保健体育です。保健体育の教科用図書は、東京書籍、大日本図書、大修館、学研の４社となっております。</p> <p>学習指導要領では、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としております。</p> <p>それでは、審議よろしくお願いいたします。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>保健体育の学習というのは、生きていくための学習だと表現してもいいくらい、実生活に生かすことのできる力をどのようにして身につけていくかというのが大事だと思います。そのような視点で各教科書を見ていくことが大切だと感じました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 庭 野 委 員 | <p>私は、現代社会の一つの課題でもあって、まさに今現在の課題と言える感染症予防という視点で見ってみました。</p> <p>大修館は、インフルエンザ等の一般的な感染症予防に関して他社よりも記載が多く、丁寧な印象を受けました。また、江戸川区の広報紙に掲載された保健サービスについても取り上げられています。特に今、新型コロナウイルス感染症が流行していることもあって、生徒にはしっかりと感染症に対する知識を身につけてもらいたいと考えております。</p>                                                                                                                                                    |
| 蓮 沼 委 員 | <p>東京書籍は、感染症予防の方法の一つである手洗いの方法が、写真でとても分かりやすく掲載されており、これは来年以降使うわけですけど、とても有効だと思っています。</p> <p>また、大日本図書は、中学生東京駅伝大会、江戸川区が昨年も完全優勝して、最多優勝回数を誇っているわけですけども、その写真が何枚か掲載されていて、駅伝で活躍している生徒たちが多い江戸川区の子どもたちにとっ</p>                                                                                                                                                                                  |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | <p>ては、より親近感がわくのではないかなと考えます。</p> <p>生徒にとって親しみやすく分かりやすいかという視点では、東京書籍のDマークコンテンツが1ページにまとまっていて良いと感じました。学習動画も豊富で、知識を視覚的に捉えられるのが良いと思います。学ぶべき知識が丁寧に説明され、その知識に関連する情報が多いという点では、学研の教科書も生徒にとって分かりやすい教科書だと思います。</p>                                                                     |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>現代社会の課題という視点からいくと、心身の健康という面で、インターネット上のトラブル、そしていじめについては、これは各社が取上げているところでした。</p> <p>中でも大修館ですけれども、こちらは著名人、有名人の経験談を扱っておりまして、生徒にとっても分かりやすいと思いました。</p> <p>同じく現代社会の課題の一つである性の多様性につきましては、東京書籍が生物的な性と心の性の不一致ということについて触れていたように思います。</p> <p>その他、ご意見いかがでしょう。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>現実の実生活に生きる学習という教科の特性上、情報量が適切な分量で子どもたちが学びやすいのがいいと思います。QRコードで示される動画が豊富で、教師にとっても生徒にとっても分かりやすい教科書というと、私は総合的に見て、東京書籍が最もバランスが取れていると思いました。</p>                                                                                                                                 |
| 蓮 沼 委 員 | <p>東京書籍は内容が充実している上に、教科書自体が軽いというのも一つ大きな特徴ではないかなと思っています。教師や生徒にとっても扱いやすいと考えます。</p>                                                                                                                                                                                            |
| 石 井 委 員 | <p>どの教科書も作りがしっかりしておりまして、本当に迷うところなのですが、学習主体となる生徒のことを考えますと、動画などが充実しております東京書籍は、生徒がより主体的に学ぶことができそうに思います。</p>                                                                                                                                                                   |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんの意見を総合しますと、生涯にわたり健康的に生きていく力を養う、実生活に生かすことができる力を身につける、そういった視点をしっかりと</p>                                                                                                                                                                             |

|         |                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>押さえられ、生徒にとってより理解しやすく、適切な分量が収められているという点から、東京書籍がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                       |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の保健体育の教科用図書につきましては、東京書籍といたします。</p> <p>次に、技術・家庭の技術分野です。技術分野の教科用図書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の３社です。</p> <p>学習指導要領では、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってより良い生活や持続可能な社会を実現する資質・能力を育成することが目標となっております。</p> <p>それでは、審議よろしくお願いいたします。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>私、今回の改訂のポイントでもありますプログラミングに関する学習に着目をいたしました。これはどの教科書でも丁寧に扱っている印象はございますが、中でも東京書籍は、問題解決をするための資料が充実していると感じました。</p>                                                                                                       |
| 庭 野 委 員 | <p>今のプログラミングについてですけれども、教育図書も、コンピュータ画面を大きく掲載しておりまして、分かりやすく示されておりました。また、開隆堂は、タイピング練習や英単語の発音チェックなど、生徒が興味を示すアプリの実習例が扱われていると感じました。</p>                                                                                      |
| 石 井 委 員 | <p>開隆堂は情報セキュリティや情報モラルについても、イラストなどを用いて丁寧に扱っております。生徒が情報の技術を安全に利用していく上で重要なポイントであります。</p>                                                                                                                                  |
| 蓮 沼 委 員 | <p>同じく東京書籍も情報モラルに関する事例と解説が丁寧で、質、量とも大変バランスがよいと感じています。</p>                                                                                                                                                               |
| 教 育 長   | <p>プログラミングに関する内容や情報モラルについてご意見を頂いたところですが、学習指導要領の目標に沿った視点ではいかがでしょうか。</p>                                                                                                                                                 |
| 石 井 委 員 | <p>今回の改訂では、物作りや栽培といった生活との結びつきや、コンピュー</p>                                                                                                                                                                               |

|         |                                                                                                                                                                                |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>ターの便利さに加えまして、環境への負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること、最適化を学ぶということが重要なポイントとなっていると考えております。</p> <p>その視点から見ますと、東京書籍はイラストを用いた説明や、最適化に焦点を当てたページを設けるなど、技術の見方・考え方をしっかり育成できる構成になっていると判断いたします。</p> |
| 蓮 沼 委 員 | <p>私は学習指導要領の目標にある持続可能な社会を実現する資質、能力の育成の視点から、SDGsについては、ほかの教科もそうですけれども、この技術・家庭ではとても大切だと思っています。開隆堂は各内容でSDGsの実現に向けて力を入れていると感じました。</p>                                               |
| 庭 野 委 員 | <p>SDGsにつきましては、教育図書も同様に扱っておりますし、東京書籍は巻末において世界を変えるための17の目標をはっきりと示しております。</p>                                                                                                    |
| 古 巻 委 員 | <p>観点をえまして、Society5.0につきましても、教育図書と東京書籍は人工知能やロボットの活用などに触れながらしっかりと説明しています。中でも、東京書籍のドローン宅配やAI冷蔵庫などは大変身近なことで、生徒が興味を示す例だと思います。</p>                                                  |
| 蓮 沼 委 員 | <p>加えて東京書籍は、QRコードでもDマークを用いて分かりやすく示していて、動画も充実しています。</p>                                                                                                                         |
| 教 育 長   | <p>ただいま意見をお伺いしましたけれども、目標となる資質・能力の育成に向けて技術の見方・考え方をしっかりと働かせながら、生徒の学習を進めていけるという視点から、総合的に考えまして、東京書籍がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>    |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の技術・家庭の技術分野の教科用図書につきましては、東京書籍といたします。</p> <p>次に家庭分野です。家庭分野の教科用図書は東京書籍、教育図書、開隆堂の3社でございます。学習指導要領では生活の営みに係る見方・考え方を働</p>                                                  |

|         |                                                                                                                                                                               |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>かせ、衣食住などに関する実践的、体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質、能力を育成することが目標となっております。</p> <p>それでは、審議をよろしくお願いいたします。</p>                                                               |
| 石 井 委 員 | <p>家庭分野は、ホームエコノミクスとでも英訳できるような総合社会科学と捉えられる分野であります。家庭という視点から社会を見ていくことが求められております。これからの社会が取り組むべき目標としてSDGsが上げられておりますが、それをどのように扱っているのかに注目いたしました。結果として、どの教科書も丁寧に取り上げている印象がございます。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>ただいまの点ですけれども、私は東京書籍の教科書にはSDGsの17の目標につきまして、マークを掲載して、生徒の意識を高めることができる工夫がされていると思います。</p>                                                                                       |
| 蓮 沼 委 員 | <p>開隆堂の教科書にもSDGsのマークが随所に出てきています。家庭分野のガイダンスに当たるページにも示されているように、この考え方をとても大切に捉えているなと強く感じました。</p>                                                                                  |
| 庭 野 委 員 | <p>確かに開隆堂は衣食住をはじめとする多くのことについて、SDGsについて取り上げていらっしゃると思います。内容もとても充実していると感じました。</p>                                                                                                |
| 教 育 長   | <p>今、各委員からお話がありましたけれども、自らの生活の営みのため、そして社会のために生徒が主体的に働きかけるときにSDGsの視点というのは大変重要なもの、大切なものであると思います。</p> <p>では、そのほかの点についていかがでしょうか。</p>                                               |
| 庭 野 委 員 | <p>別の視点から私は衣食住について注目をしてみました。生徒が主体的に調理に取り組もうとする際に、教育図書と開隆堂の調理カードはとても分かりやすいものになっているなと感じました。また、教育図書は、この時世に活用できるマスクの作成方法について取り扱っているのが印象的です。</p>                                   |
| 蓮 沼 委 員 | <p>現在の高齢化社会を生きる生徒は、高齢者といかに関わっていくかということを考えなくてはならないと思います。開隆堂には、江戸川区の生徒たちが毎年行っているジュニア訪問員という高齢者のお宅を訪れて話を聞いた</p>                                                                   |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 古 巻 委 員 | <p>り、聞いてもらったりという交流の実践を取り上げていただいております、また本区の他の生徒たちにとっても自分事として捉えやすい良い内容ではないかと感じました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 教 育 長   | <p>もう一つ、防災についてですけれども、東京書籍と開隆堂が巻末で扱っております。特に開隆堂は命と生活を守るということに重点を置きまして、ほかに比べてよくまとめられているのではないかと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。ただいま皆様のご意見を伺いました。SDGsの視点について丁寧に取り上げられていて、現代の様々な課題について取り扱っているという点を総合的に判断しまして、開隆堂がふさわしいということではいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、本区の技術・家庭の家庭分野の教科用図書につきましては、開隆堂といたします。</p> <p>次に、外国語です。外国語の教科用図書は東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社となっております。</p> <p>学習指導要領では外国語を用いた簡単な情報や考えなどを、理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成するということを目指しております。</p> <p>それでは、審議をよろしく願いいたします。</p> |
| 石 井 委 員 | <p>英語は、他の国の言葉でありまして、日本語とは全く異なる構造を持っております。そこで、英語に対して難しい、苦手だといったようなイメージを持たないようにするための工夫が必要だと考えております。そのため、毎回の授業で何を学ぶのか、視覚的に捉えられるということが大切だと考えてもおります。</p> <p>一方、授業の開始時にはリスニングが行われることが多いと思いますが、リスニングの内容が全て文章化されている開隆堂、啓林館は生徒の英語理解を支えるためには良いと感じました。</p>                                                                                                                                                                    |
| 古 巻 委 員 | <p>私は、三省堂が資料や付録が充実しており、生徒の学びへの意欲をより高めると感じました。また三省堂は文法についてもしっかりと学べるような構</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|         |                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>成になっています。</p> <p>一方、啓林館は学習で押さえるべき文法をターゲットと表記して、生徒にとって分かりやすくなっていると思いました。</p>                                                                                                                                                    |
| 庭 野 委 員 | <p>文法をしっかりと学ぶという視点から見ますと、教育出版は重要な構文をリスト化しておりまして、さらに赤いマスキングシートも付属していますので、生徒が自主学習をするのに適していると感じました。さらにQRコードも各単元の最初についており、単元で扱う英文をしっかりと聞くことができました。特に日本人の名前のイントネーション等もとても聞きやすく、分かりやすいものになっていると感じました。</p>                               |
| 蓮 沼 委 員 | <p>生徒が自習学習に生かすことができるQRコードについては、どの教科書も充実していると感じました。ただ、中でも光村図書のものは教科書に記されている以上の情報が含まれており、生徒の自主的な学びを促すことができるのではないかなと思いました。</p>                                                                                                       |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。子どもたちが英語の学習に主体的に取り組むための各教科書の工夫について、ただいまお伺いをいたしました。確かに生徒が英語に親しみやすい、そして英語を理解しやすいということはとても大切なことだと思います。</p> <p>ところで、新学習指導要領に新たに話すこと、やり取りですけれども、そういった観点の設定されて、これまで以上に英語を活用したコミュニケーション能力の育成が求められています。この点についていかがでしょうか。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>対話的な言語活動の充実と、それによるコミュニケーション能力の育成が大事です。今、特にインバウンドが盛んになってきた日本ではそのとおりだと思います。どの教科書についても、その点については大変工夫されて編集されていると感じました。この観点から選ぶのは悩ましいかなというふうに思います。</p>                                                                               |
| 庭 野 委 員 | <p>特に東京書籍、開隆堂、啓林館、この3社は教科書の構成や取り上げているテーマが対話の活動に発展させやすいものになっていると感じました。</p>                                                                                                                                                         |
| 蓮 沼 委 員 | <p>現在、本区の小学校で行われている外国語活動及び外国語科においても英語を使ったやり取り、会話を重視しています。そこで、小学校との接続を考</p>                                                                                                                                                        |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | <p>えると東京書籍がよいのかなと思います。また、開隆堂は会話形式の表記を多用しており、生徒が実際に英語を活用できるようになる生きた学びというものに力を入れているので、そういったものが実現されるのかなと感じました。</p> <p>開隆堂と東京書籍を比べましたときに、教員が実際授業のとき教科書を持って生徒とのコミュニケーションに臨むというような観点から考えますと、開隆堂のほうが扱いやすいのではないかと私は判断しました。</p>                                                                                |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。ただいま皆さんからご意見を伺いました。生徒が積極的に学習に取り組み、そして、コミュニケーション能力を高めるために、やり取りの活動を充実させることができる教科用図書、そういった視点で考えまして、本区においては開隆堂がふさわしいということではいかがでしょうか。</p>                                                                                                                                                    |
| 教 育 長   | <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、外国語の教科用図書については開隆堂といたします。</p> <p>次に、特別の教科道徳です。道徳の教科用図書は東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研、廣済堂あかつき、日本教科書の7社です。</p> <p>学習指導要領では、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、信条、実践意欲と態度を育てることを目標としております。</p> <p>それでは、審議をよろしくお願いします。</p> |
| 庭 野 委 員 | <p>私は道徳の学びを通して、人としての生き方についてしっかりとした考え方を持ってもらいたいと思っております。そのために友達と議論をして多面的・多角的に物事を見る目を養ってもらいたいと考えます。教科化されてきましたこの2年間で、教育出版の教科書を使用した学びも教員や生徒に定着してきていると考えております。</p>                                                                                                                                         |
| 古 巻 委 員 | <p>学習指導要領の目標の中にも「自己を見つめ」とありますように、道徳にとって重要なのは、自分と他者との立ち位置の基準を持つセルフモニタリングやメタ認知の力を養うことだと考えております。どの教科書も人間としての生き方についての考えを深める内容になっておりますけれども、光村図書、</p>                                                                                                                                                       |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | <p>学研、廣済堂あかつきは、どちらかという自分自身に関する内容が多くなっているように感じました。</p> <p>私も道徳は常に自分に問いかけ続ける教科だと考えます。物事をよりよい方向に考え、また深く考えるためには、まず自分事として捉えまして、次いで自分のことを客観視するとともに、相手のことに思いをはせる、そのような自己と他者との視点の交換が必要だと思います。</p> <p>このように考えますと、学研、光村図書、そして教育出版が自己と他者について深く考えていくことができる教科書だと感じました。</p> |
| 蓮 沼 委 員 | <p>道徳では一人ひとりの生徒が確かな生き方を探ることが何よりも大切だと思います。私は知識だけではなく、問題の解決に取り組むことによって、多面的・多角的に考えながら、じっくりと問題と向き合うことが重要だと思っています。特にいじめ問題は、残念なことでありますけれども、現代の中心的な課題です。そういう点では教育出版のいじめ、いじりを扱っている題材は大変印象的です。</p>                                                                     |
| 古 巻 委 員 | <p>日本文教出版と日本教科書につきましては、どちらかという集団とか社会とのかかわりに関することが比較的多く取り扱われています。また、特に日本教科書の場合は、公共についてじっくりと考えることができるのではないかと思います。</p>                                                                                                                                           |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。道徳というものは、その学びを通して友達と議論し合いながら自己をしっかりとじっくりと見つめ直して、豊かな心を養うということが大事なことだと思います。そのためにも教科書で取り上げる題材は大変重要なポイントになると思いますが、その点ではご意見いかがでしょうか。</p>                                                                                                             |
| 庭 野 委 員 | <p>現在使っている教育出版の教科書では、生徒に親しみのある古川親水公園が取り上げられています。水と緑のまち江戸川区と言われるゆえんを生徒に考えてもらい、この江戸川区という郷土を愛する心を醸成してもらいたいと思っています。</p>                                                                                                                                           |
| 教 育 長   | <p>親水公園というのは生徒たちにとっても大変身近なものです。ただ、もう彼らにとってはきっと生まれたときからあるものですから、完成までの過程</p>                                                                                                                                                                                    |

|         |                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>はあまり知らない、生活の中に溶け込んでいるものかもしれません。そういった面では、多くの人たちが努力と苦労を重ねて出来上がっているということを学べることは大変意味のあることだと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>                                                                                                                   |
| 蓮 沼 委 員 | <p>教科書の中で、江戸川区の中里元区長が4ページにわたって取り上げられていることはとても喜ばしいことです。また、東京書籍、学研では、江戸川区出身パラアスリートの村上清加さんが掲載されています。誰もが安心して自分らしく暮らせるまちを目指す江戸川区にとって、身近な先輩の姿から共生社会について学ぶことはとても有意義だと思います。</p>                                                                   |
| 石 井 委 員 | <p>日本教科書では、自己実現に向けた系統的な学びができる題材が興味深いと思います。自分を知り、自己啓発を図り、自己実現に向けた題材を発展段階に応じて取り上げております。</p>                                                                                                                                                 |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。私は学研の中の「そんな軽い命なら私にください」という、これは江戸川区に住んでいらしゃった渡部さんのお話ですけど、とてもこれが印象深いです。特に今の中学生には命の大切さということについて真剣に考えてもらいたいと思っております。</p> <p>各社とも取り上げる題材は非常に工夫されていると思います。やはり重要となってくるのは、これらの題材をどのように学んでいくかということになると思いますけれども、そういった面ではいかがでしょうか。</p> |
| 蓮 沼 委 員 | <p>やはり、どのように学ぶかという点です。他者と議論する道徳が今標榜されているわけですが、それを実践していくためには、適度な分量と何について考え、議論するのが明確になっていることがとても大切だと思います。そういう点で東京書籍の話合いの手引きというのがありますけれども、それは議論を進めていく際にとても役立ちそうな気がします。</p>                                                                   |
| 古 巻 委 員 | <p>今言われた議論を進めていくということは私もそう思います。一方で廣済堂あかつきと日本文教出版には別冊がございまして、自分の考えなどが記載しやすいようになっています。ところが、これは私の感じ方かもしれませんが、それがあると書くことに逆に集中してしまい、先ほど蓮沼委員が言われたような生徒自身が考えて議論をする時間を確保できるか心配です。</p>                                                             |

|         |                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | よりよく生きるために、どのようにしたらよいか問いを投げかけている、考えを示している教育出版、学研、光村図書は深い学びができそうに感じます。                                                                                                                                                                         |
| 古 巻 委 員 | 深い学びということで見ますと、文章の量が適量であるのは、教育出版ではないかと思います。生徒がじっくりと読むだけでなく、考え議論する時間も十分に確保できると思います。                                                                                                                                                            |
| 庭 野 委 員 | <p>道徳は中学校の教員全員が指導する教科となりますので、どのように学びを進めていくかを教員が理解して進めることが大切になってまいります。そのことが生徒にとっても分かりやすいものになると思います。</p> <p>そのために考えますと、教育出版は各題材の冒頭に導入の発問を設けて、学習のねらいを明確にすることで、今日の道徳で何について考えていくのかが分かりやすいですね。また、自宅に持ち帰った際にも生徒が自分で学習を進めていくことができるようになっていると感じました。</p> |
| 蓮 沼 委 員 | 道徳の授業というのは、学校の教育活動の礎となるべき教科です。江戸川区の先生方、教員が一時間一時間の道徳の学びから、どのように日常を一般化させていくかを見通しながら組み立てていくものなので、ねらいが明確になっていることがとても重要です。そういう点で教育出版は学びやすさや、その後の広がりを感じるところです。                                                                                      |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。皆様のご意見を伺いますと、生徒が物事を自分事として捉え、議論を通して自己を見つめられる工夫があることや取り上げられている題材、学習の仕方が明確になっていることなどの視点から、総合的に考えまして、教育出版がふさわしいということによろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                           |
| 教 育 長   | <p>それでは、本区の特別の教科道徳の教科用図書については、教育出版といたします。</p> <p>以上で、令和３年度から使用する中学校教科用図書の採択を終了いたします。</p> <p>次の議題に移りますが、審査の進め方について、お諮りします。</p> <p>第４１号議案、教育に関する事務の議案についての区長からの意見聴取に</p>                                                                        |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教 育 長  | <p>については、議会に上程される前の予算・条例案に関するものであり、政策形成過程にある案件であることから、江戸川区教育委員会会議規則第 13 条に定める秘密会として審議したいと思います。</p> <p>この発議に賛成の方の挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">〔賛成者挙手〕</p> <p>賛成多数と認めます。これより会議は秘密会となります。</p> <p>なお、本件については議案が議会に上程された後に、議事録の公開は可能といたします。</p> <p>それでは傍聴人の方の退出をお願いします。なお、秘密会終了後の再入室は可能となっております。</p> <p style="text-align: center;">〔傍聴人退室〕</p> <p style="text-align: center;">〔秘密会〕</p> <p style="text-align: center;">〔政策形成過程期間が終了したため秘密会部分を公開〕</p>                                                    |
| 教 育 長  | <p>それでは、第 41 号議案について、事務局から説明をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 教育推進課長 | <p>ご説明させていただきます。第 41 号議案、教育に関する事務の議案についての区長からの意見聴取についてでございます。</p> <p>資料の 1 点目といたしまして公文をつけさせていただいてございます。教育に関する事務の議案についてということで、9 月 17 日より開会されます令和 2 年第 3 回江戸川区議会定例会に下記の議案を提出する予定です。については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により意見を聴取するというものでございます。</p> <p>記書きに 4 点ございます。</p> <p>1 点目、令和 2 年度江戸川区一般会計補正予算中教育の事務に関する部分。</p> <p>2 点目、江戸区立学校設置条例の一部を改正する条例。</p> <p>3 点目、江戸川区立図書館条例の一部を改正する条例。</p> <p>4 点目、江戸川区すくすくスクール事業条例の一部を改正する条例でございます。</p> <p>順に説明をさせていただきます。次のページをお開けください。</p> <p>令和 2 年度第 5 号補正予算概要（教育費）案とお示しさせていただいてい</p> |

るものでございます。今回の補正予算につきましては、基本的には新型コロナウイルス感染症に関わるものが増えてございます。中でも増えておりますのが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いまして、事業の中止や縮小をしたことによります減額補正。また一部この感染症の拡大防止のための施策についても補正を上げさせていただいております。

まず、歳入の部でございます。都支出金、都補助金、教育費補助金でございますが、こちらは公立幼稚園新型コロナウイルス感染症対策事業費都補助金でございます。50万円の補正を行っているところでございます。内容にございますように、区立幼稚園の消毒や保健衛生用品の購入のための事業でございます。

もう一点が、諸収入、受託事業収入、教育費受託収入ということで、こちらは宿泊体験の中止に伴いまして、そのための予算を計上しておりましたものの、226万4,000円の減額補正でございます。

この2点に伴いまして、合計で176万4,000円の歳入の減額ということでございます。

続いて、歳出の部でございます。教育費、教育推進費につきましては、教育推進費全体で今回134万6,000円の補正でございます。

内訳といたしましては、1点目が職員の健康管理費でございますが、新型コロナウイルス感染症の関係で密になる環境を防ぐために、一部、健康診断の項目を少なくしております。それに伴いまして130万6,000円の減額補正でございます。

続いて、事務局事務費につきましては、全国都市教育長協議会、また定例校長会、副校長会等の会議の中止に伴いまして、60万7,000円の減額補正をしているものでございます。

続いて、協力団体振興費といたしましては、春の後援会等、PTAに関わる行事の中止に伴いまして27万8,000円の減額をしております。

続いて、すすくスクール運営費では、クラブマネージャー委嘱式の中止に伴いまして3,000円の減額です。

文化財保護普及費につきましては、伝統工芸藍型染展等の事業の中止に伴いまして、36万4,000円の減額をしております。

学校行事实施費(小学校)につきましては、宿泊体験行事を中止したため、36万円の減額でございます。

続いて、新型コロナウイルス感染症対策関係費ということで、今回426万4,000円の補正を上げさせていただいております。こちら放課後児童健全育成事業、いわゆる民間で事業を行っております区内の2事業者に対し

まして、小学校の臨時休業に伴う開所に要した経費に対する補助金、またマスク等の感染防止の物品購入に対する補助金のための経費として上げさせていただいたものでございます。

続いて、学務費全体では今回2,149万1,000円の減額補正です。内訳といたしましては、学校行事実施費（小学校）につきましては、体育大会等の行事の中止に伴いまして、1,477万3,000円の減額でございます。

特別支援学級運営費（小学校）につきましても、連合運動会等の行事の中止に伴いまして53万2,000円の減額です。

裏面をご覧ください。

学校保健事務費（小学校）でございます。宿泊体験行事の中止に伴いまして、12万8,000円の減額です。

学校行事実施費（中学校）につきましては、区民まつりや陸上大会等の中止に伴いまして、329万5,000円の減額でございます。

特別支援学級運営費（中学校）につきましても、陸上大会等の行事の中止に伴いまして、326万3,000円の減額でございます。

また、新型コロナウイルス感染症対策関係費ということで、区立幼稚園の保健衛生用品の購入に伴う50万円の補正でございます。こちらは先ほどの歳入の部で組ませていただいたものに対応する経費でございます。

続いて、教育指導費につきましては、全体で3,873万円の減額補正を行ってございますが、内訳といたしましては、教育活動事業費ということで、夏季水泳指導外部指導員、また日本のしらべ等の中止に伴いまして1,849万2,000円の減額でございます。

科学センター運営費につきましても、事業の中止に伴いまして2,023万8,000円の減額です。

教育研究所費につきましては、157万7,000円の減額でございますが、自然体験教室等の行事の中止に伴うものでございます。

また、今回補正がなかった項目といたしましては、学校施設課の予算については今回補正がございませんでした。これらに伴いまして、教育費全体の予算につきましては、6,045万2,000円の減額補正となりまして、補正後の金額といたしましては、402億1,832万5,000円でございます。

続いて、継続費でございますが、こちらは教育費、教育施設費でございます。二之江小学校施設改築費、南小岩小学校施設改築費、篠崎小学校施設改築費ということで、いずれも改築に伴うものでございます。令和3年度から

５年度にかけまして、継続費の計上をさせていただいてございます。

最後に、繰越明許費でございますが、教育指導費、教育活動事業費、使用料及び賃借料ということで、令和２年度から３年度にかけまして、８１１万１，０００円でございます。内容といたしましては、東京２０２０オリンピック・パラリンピック大会の延期に伴いまして、子どもの競技観戦支援に係る経費を繰越明許費ということで今回計上させていただいたものでございます。

補正予算については、以上でございます。

引き続きまして、条例改正に進ませていただきます。

続いての資料が、江戸川区立学校設置条例の一部を改正する条例でございます。前回の教育委員会でもお示しさせていただいたものでございますが、住居表示の実施に伴う改正でございます。

新旧対照表をご覧くださいと、別表の小学校部の中の下鎌田東小学校につきましては、旧の住所が江戸川二丁目二一番地であります。こちらが新規になりますと江戸川二丁目一六番三一号に変更になります。また江戸川小学校につきましても、江戸川一丁目三七番地から江戸川一丁目一番一六号に変更になるものでございます。

付則にございますように、この条例は令和２年１１月２日から施行するということで、住居表示に合わせての住所変更でございます。

次の資料をご覧ください。江戸川区立図書館条例の一部を改正する条例でございます。こちら先ほどと同様、住居表示に関する改正でございます。

二条の表にお示ししてございます。江戸川区立東部図書館の住所でございますが、旧のところでは江戸川区江戸川二丁目三五番地六でございましたが、こちらが新になりますと、江戸川区江戸川二丁目二六番一号に変更になるものでございます。

こちら付則にございますように、令和２年１１月２日から施行するというものでございます。

続きまして、江戸川区すくすくスクール事業条例の一部を改正する条例でございます。新旧対照表をご説明する前に、今回の改正の概要についてご説明させていただきますと、すくすくスクールにつきましては、いわゆる皆さんが参加できるすくすく登録と保護者の就労等に伴う学童登録という二つの登録区分がございます。特に学童保育の部分でございますが、近年女性の社会進出により共働き世代が増加をしているということで、学童クラブの実施時間、現在１８時までとなっておりますが、これを延長する必要性が高まっているというような社会情勢でございます。

また、こういった区民のニーズに応える形で、今回の学童クラブの利用時間の延長を可能とするための条例改正を行うものでございます。併せて、この延長に伴う育成料についても今回規定をさせていただいてございます。なお、延長の時間につきましては１９時までということで、今回改正をさせていただきますが、条例の中では育成をする時間帯は特に表示されてございませんので、１９時まで延長となる部分につきましては、このすすくすくスクール事業条例施行規則のほうで別途改正を行う予定です。

それでは、新旧対照表をご覧ください。１ページ目ではなく２ページ目をお開けいただければと思います。

第５条でございますが、第１項にすすくすく登録に関すること、第２項に学童登録に関することが従前、旧のところでは記載されてございます。こちらにつきましては今回第３項ということで、学童クラブ事業の利用時間を延長しようとする児童の保護者は学童クラブ登録に加え、学童クラブ延長登録(学童クラブ事業の利用時間の延長に係る登録をいう)を行わなければならない。こちらの規定を加えさせていただいたものでございます。

第６条につきましては、すすくすくスクールの利用料は原則無料でございますが、旧のところをご覧くださいますと、ただし学童クラブ登録を行った保護者は児童一人につき月額四千百円の育成料を納付しなければならないとなっておりました。今回この育成料の部分を第２項及び第３項と分けて表示をさせていただく改正を行ってございます。

第２項は通常の学童クラブ登録になりまして、学童クラブ登録を行った児童の保護者は児童一人につき、月額四千百円の育成料を納付しなければならないとさせていただいてございます。

第３項が延長に伴うものでございます。学童クラブ延長登録を行った児童の保護者は、児童一人につき月額千円の延長育成料を納付しなければならないと改正をしてございます。

また、第７条以下につきましては、これまで育成料と表記があった部分につきましては、育成料及び延長育成料ということで文言の整理をさせていただいているところでございます。

最後に付則でございますが、施行期日といたしましては、この条例は、令和三年四月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。第２項、(準備行為)といたしまして、江戸川区すすくすくスクール事業の利用に係る登録その他利用のための必要な準備は、施行日前においても行うことができる、とさせていただいてございます。

学童クラブの延長につきましては、令和三年四月一日から行う予定でござ

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>いますが、それに伴う利用登録の申込み等、こちらにつきましてはこの四月一日を待たずに、例年１１月下旬から１２月上旬に行ってくださいるので、その時期に来年度を見越した形で延長に係る利用申請も併せて受け付けるというものでございます。</p> <p>説明につきましては以上です。</p>                                                                                                                                               |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。ただいまの件に関しまして、何かご質問、ご意見、ございませんでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                        |
| 石 井 委 員 | <p>すすすくスクールについて、特に育成料の減免についてお伺いしたいんですけど、１１月に前もって申込みができますというときに、こういう方は減免措置がありますよということもお知らせいただいているのでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                  |
| 教育推進課長  | <p>すすすくスクールの利用料の減免につきましては、これまでの通常の育成料についても同様ですけれども、生活保護世帯や非課税世帯につきましては、無料になります。また、就学援助の世帯や、すすすくスクールに二人目以降、多子をお預けしていただいている世帯につきましては半額という形になってございますので、通常で４，０００円の育成料についても無料になる方、２，０００円になる方がございます。同じような条件でこの延長育成料につきましても、半額になる方、また免除になる方がございます。これは説明の際に必ずご案内をするところです。</p>                        |
| 石 井 委 員 | <p>ありがとうございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 蓮 沼 委 員 | <p>直接ではないんですけども、補正予算のところで、幼稚園の消毒とか衛生用品を購入するということでございますけれども、これとは直接関わらないんですが、今、保育園のことなんですけど、別の課のことで分ければ教えてもらいたいんですけども、たしか世田谷区がＰＣＲ検査を保育園ではみんなやるというふうなことが報道で出ていたんですけども、江戸川区においてはそういうような方向性というのはあるのでしょうか。それと、幼稚園については、他区や市の報道がないんですけども、幼稚園については保育園と同じように考えてはいないのでしょうか。その辺をちょっと教えていただければと思います。</p> |
| 教育推進課長  | <p>江戸川区立の保育園で同様の取扱いをするかというのは、直近の状況は捉</p>                                                                                                                                                                                                                                                     |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>えてはいないのですが、これまでの区の基本的な考え方といたしましては、ＰＣＲ検査につきましては、医師の指示の下に必要な方に対して実施をするという方針ですと行ってまいりました。実施する時期によりましては、また必要ない方もいらっしゃるし、ある時点で陰性だったとしても、後の時点で陽性である方もいらっしゃるしますので、一概に一定の時期にＰＣＲ検査を行って陰性だったから、その方は安心だということも言い切れないものですから、医師の所見に基づきまして必要な方に必要な時期にＰＣＲ検査を実施するという方向性で、全部の方にやる必要があるという判断があればやりますし、これまでは基本的にはそういった状況にはございません。</p> |
| 蓮 沼 委 員 | <p>ありがとうございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 教 育 長   | <p>よろしいでしょうか。</p> <p>他になければ、第４１号議案の意見聴取に対しては、異議なしと決定してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>                                                                                                                                                                                                                           |
| 教 育 長   | <p>それでは、異議なしと決定し、区長にその旨回答いたします。</p> <p>秘密会はここまでとします。</p> <p>傍聴人の再入室を認めます。</p> <p>〔秘密会終了〕</p>                                                                                                                                                                                                                         |
| 教 育 長   | <p>次に、第４２号議案、江戸川区指定無形文化財保持者の認定解除及び指定解除についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                |
| 教育推進課長  | <p>ご説明させていただきます。江戸川区指定無形文化財保持者の認定解除及び指定解除についてということで、資料といたしましては、告示の案をお示しさせていただいたところでございます。</p> <p>表題にありますように、認定解除及び指定解除ということでございますが、いわゆる無形文化財につきましては、例えば演劇であったり、何か作品を作る技術であったり、技術そのものを指定しているものでございますので、指定する際に技術を指定するのと併せまして、技術を持っている人、個人、または団体を認定するということを必ず併せて行ってございます。今回は指定</p>                                      |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>されている方の死亡に伴うものでございますので、技術の指定の解除と併せて、保持者の認定の解除というものも二つ併せて行っているところでございます。</p> <p>江戸川区文化財保護条例第7条第4項の規定に基づき、別表の江戸川区指定文化財の保持者認定を解除し、指定を解除するものでございます。別表にございますように、江戸川区指定文化財といたしましては番号26番、名称、無形文化財・工芸技術演劇舞踊傘、こちらにございます保持者について、本人死亡のため、保持者の認定解除及び指定の解除を行うものでございます。</p> <p>教育委員会の議決後、こちらの告示を行わせていただくとともに、文化財保護審議会への報告、また文化庁への報告を予定してございます。</p> <p>説明は以上です。</p> |
| 教 育 長   | ありがとうございます。この件に関しまして、ご質問、ご意見、ございましたらお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 古 巻 委 員 | 薮田さんという方、私も接したことがあるのですが、いつ頃亡くなったのか、差し支えなければ教えてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 教育推進課長  | お亡くなりになったのが、令和2年4月でございます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 古 巻 委 員 | 私が存じ上げたときというのは20年くらい前で、そのときもう70過ぎでしたがかくしゃくとして元気でいらしたことを覚えています。                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 教 育 長   | この認定解除と指定解除、江戸川区は認定として一緒にやるという話だったのですけれど、これは本人が亡くなったので本人の認定は解除し、今江戸川区にはこの演劇舞踊傘を作る方がもう薮田さん一人しかいないので、傘の指定も解除すると、そういう意味ですか。                                                                                                                                                                                                                                |
| 教育推進課長  | おっしゃったとおりでございます、現在この技術を保持している方がこの方お一人ですということでございます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 教 育 長   | <p>ですよね。だから、もう一人もしいらっしゃれば、その方の認定は解除されるけれども、江戸川区としては技術の指定は残るということでよろしいですか。分かりました。</p> <p>よろしいでしょうか。他になれば、第42号議案は原案のとおり決定し</p>                                                                                                                                                                                                                            |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教 育 長  | <p>てよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、このとおり決定いたします。</p> <p>続いて、日程第３、教育関係事務報告にまいります。</p> <p>初めに、教育委員会後援名義の使用承認について、事務局から説明をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 教育推進課長 | <p>では、お手元に教育委員会後援名義使用申請一覧Ａ４横判の資料をお配りさせていただいてございますので、ご覧ください。</p> <p>今回の後援につきましては、４３回目の後援でございます。区の後援を予定しているものでございます。</p> <p>行事名は、第４８回江戸川区吹奏楽連盟定期演奏会でございます。実施日時、令和２年９月１３日（日）１０時～１７時半頃でございます。</p> <p>申請者につきましては、江戸川区吹奏楽連盟の理事長、実施会場は江戸川区総合文化センター大ホールでございます。事業の対象と範囲につきましては一般区民でございます。</p> <p>事業の目的は、区内における吹奏楽の振興、音楽文化の向上を目指し、演奏会を行う。今年はコロナ禍において子どもたちの発表の場が少なくなっていることから、演奏機会を提供するというものでございます。入場料は無料、賞状等はございません。後援の内容といたしましては、後援名義の使用でございます。</p> <p>今回、参考といたしまして、今回コロナ禍における開催ということで、コロナ禍における開催方法につきまして参考資料を添付させていただいております。参考資料の一つ目でございますように、コロナ対策ということでございますが、検温やマスク、手洗い、アルコール洗浄の励行等につきましてはもちろん実施していただくというものでございますけれども、演奏の実施の仕方につきまして、この裏面にございます大ホールの座席表をご覧ください。</p> <p>大ホール座席表と表記がございますあたりが、いわゆる舞台でありまして、左右に花道がございますが、今回はいわゆる座席の一番前のほうの部分に当たる、この黒い太線で囲ってある部分、こちらオーケストラピットということで、座席を全て撤去した上で、床面を舞台と同じ高さまで上げます。舞台の延長線上として使えるような形になってございまして、通常の舞台よりも</p> |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>広いスペースを使った上で演奏者がいわゆるソーシャルディスタンスを保った上で演奏できるような配慮をしています。</p> <p>1 階席につきましては、演奏者が座る席ということでございまして、2 階席が父兄の席というふうになってございます。</p> <p>次のページにございますように、出演順というものを添付させていただいていると思いますけれども、今回この演奏を行うに当たりまして、例としまして最初の出演者、2 番目の出演者あたりをご覧いただければと思うんですが、出演番号 1 番の瑞江中学校につきましては、9 時 15 分に会場入りをいたしまして演奏会開始が 10 時 15 分、演奏終了が 10 時 30 分、10 時 50 分までには客席を退出してホールの外に出るということでございます。二つ目の団体は 9 時 50 分頃に客席に入りまして、10 時 50 分、前の団体がこのホールを出てから演奏を開始をするというものでございます。</p> <p>つまり先ほど座席表と合わせて見ていただきますと、演奏するに当たりまして、演奏を行っている団体が舞台上にあります。演奏を行っている次の団体がこの 1 階席の客席全体で 1 校だけ待っています。また演奏を今行っている団体の父兄が 2 階席であります父兄席で観覧をしているというものでございまして、一つの団体が終わるごとにこれが入れ替わりを行うことによりまして、今申し上げた人数以上のものがこの会場には入らないということで、演奏につきましてもいわゆる 3 密を避けた上で生徒の演奏機会を確保するというので、今回実施をしたいということでの申出でございます。</p> <p>こういったことにも配慮した上で、今回、定期演奏会を開催したいというところでございます。説明は以上です。</p> |
| 教 育 長   | ありがとうございます。この件に関しまして、何かご質問、ご意見、ございませんか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 古 巻 委 員 | これは父兄も入れ替わるということですか。学校の父兄。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 教育推進課長  | 演奏している学校の父兄だけが入れるということです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 古 巻 委 員 | 演奏が終われば外に出て、舞台のほうには入れないということですね。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 石 井 委 員 | 時間をしっかりと組んでいただいているのですが、具体的なところ、導線までお考えいただいているのでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|        |                                                                                                                                                                                     |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育推進課長 | <p>今回資料にはおつけしてございませんが、実施案を確認させていただいている中では、生徒また保護者の動く導線も全て計画上に落とされた上で接触がないようにということで配慮してございます。</p>                                                                                    |
| 石井委員   | <p>ありがとうございます。続けていいですか。</p> <p>大ホールですと、外にちょっと広いところがあったりするんですが、そういうところにも集まらないようにというような注意もあるわけでしょうか。</p>                                                                              |
| 教育推進課長 | <p>そういったところも含めまして滞留しないようにということで、かなり細かく規定をしてございます。</p>                                                                                                                               |
| 石井委員   | <p>そうですか。ありがとうございます。</p>                                                                                                                                                            |
| 古巻委員   | <p>運営する江戸川区の吹奏楽連盟ですが、このやり方をしますと、相当数役員といいますか、出てくると思うのですが、これはどういう形でしょうか。吹奏楽連盟の方がやるようになるのか、この辺のところの計画は出ていますか。</p>                                                                      |
| 教育推進課長 | <p>今回、団体から出ている資料の中では、運営に当たる吹奏楽連盟の人数としては１９名出ております。また、それぞれの学校、参加団体のほうで生徒の誘導、保護者の案内等を行う予定でございます。</p>                                                                                   |
| 古巻委員   | <p>１９名、あまり多くないですけどね。どうなんでしょう、印象としては。</p>                                                                                                                                            |
| 石井委員   | <p>今回いろいろ対策をするというようなことで、もう何回も後援しているものなので、もしかしたら出てきていないのかもしれないのですが、予算立てはこれまでと違ってきているのでしょうか。</p>                                                                                      |
| 教育推進課長 | <p>予算書についてもいただいておりますが、基本的には会場使用料のほか、運営に当たる職員の弁当代等でございますけれども、予算上はこれまでと大きく変わってございません。ただ、執行に当たりましては、当然規模がかなり小さくなっていますので、執行としては余るようになるかもしれませんけれども、予算の組み方としてはそれほど変わっていないということでございます。</p> |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 井 委 員 | ありがとうございます。実は私、古巻委員と同じ懸念を持っています、19人というのは少ないのではないかという思いがあります。                                                                                                                                                                                        |
| 古 巻 委 員 | そう思います。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 石 井 委 員 | 懸念なので何ともしようがないのですけれども。                                                                                                                                                                                                                              |
| 古 巻 委 員 | それとあと、もうちょっと付け加えれば、メディカルチームといいますか、いわゆる何か人が人とか病人が出た場合の対応とかということもきちんと考えて用意しているのでしょうか。                                                                                                                                                                 |
| 教育推進課長  | 今回、運営に当たるスタッフにつきましては、いただいている資料の中ではメディカルスタッフはいないようでございますけれども、当然参加する団体に当たりましては、当日の検温も含めて健康状態を確認した上で、当然不安がある場合には見合わせるというようなことは事前にご案内した上で、団体ごとにそういったところを確認していただいた上で来場していただけるというようなことでございます。                                                             |
| 古 巻 委 員 | 通常とは違いますので、できれば、今、石井委員もおっしゃったように運営スタッフが少ないということと、それからメディカルチームというかスタッフも考えていらっしゃらないとしたら、例えば保健所ときちんと連携を取るとか、何かそういう手立ても万が一のために必要なことではないかなという気がするんですけれども。余計な取り越し苦労であればいいんですが、どうでしょう。                                                                     |
| 教育推進課長  | 今回実施するに当たりまして、参加される団体、生徒の皆さんに対する健康管理上の注意はかなり厳密に綿密に行っていただいております。そういった上で体調に不安がある方は参加を見合わせていただくというところでございますけれども、当日その場で体調を急に崩されてどうこうというようなところがあれば、文化センターですので、必要な対応ができるかと思えます。コロナ対策というところにつきましては、いわゆる予防というところをしっかりと取り組んでいるということで、今回対応していただいているところでございます。 |
| 教 育 長   | 本来ですと、いろいろ参加される方がいらっしゃるということですけど、                                                                                                                                                                                                                   |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>今回はあくまで中学校だけで、もう中学校の中では出る機会がないものですから、全ての大会が今中止になってしまって、何とか中学生が出られるような大会を作ってあげようということで、これを今回企画した、実施することにしたということです。いつもだと大人の方たちも出たりするのですが、今回はその方たちは出ないということで、裏役に回る形だということです。そういうことなので、本来だったら午後の時間だけでやるのですが、今回はそういったことで少し始まりも早いですし、終わりの夕方いっぱいまでという形で、間を空けながらの実施です。</p> <p>ですから、先ほどご心配の健康的なチェックもしっかり学校のほうでやってもらい、当日具合が悪ければもちろん出ないという形で、席も必ず前後左右を一つずつ開けながら座らせて、終わったらすぐ退出するという形でやりますので、かなりその辺は細かく配慮されています。</p> <p>今の懸念の部分は、主催者に伝えまして、その辺も何か配慮できるようにあればというふうに思います。</p> <p>伺いましたら、吹奏楽は今、例えばラッパだって、そこからウイルスが出るということは科学的根拠としては、もうそこはないということが証明されているということで、ちょっと意外だったんですが、ヤマハとかそういったところでは、しっかりそういったところも検証して、決して、そこから噴き出して飛沫が飛び出すような、そういった楽器ではないということを言っているそうなので、そういった意味でそんなに不安はないということです。</p> <p>ただ、オーケストラピットも使いながら空間を開けてやってみたいということでありました。私も当日呼ばれて行きますので、どんな状況か見てきます。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>学校側のほうには本当に神経質になるくらい、きちんとその辺のところは連盟のほうからも徹底していただくということをきちんと再度お話ししていただければと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 教 育 長   | <p>よろしいでしょうか。</p> <p>他になれば、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>次に、転入児童に関する文書の紛失について、事務局から説明をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 指 導 室 長 | <p>私から、転入児童に関する文書の紛失について、ご報告申し上げます。資</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

料をおつけいたしましたので、ご覧ください。

その前に大変申し訳ございません。資料の訂正が1か所ございます。

4番、学校対応の8月7日（金曜日）が8月14日（金曜日）の誤りでございました。大変申し訳ございません。

それでは、ご説明申し上げます。

このたび、区内小学校で転入児童に関する文書の紛失につきまして、事故がございましたので、ご報告申し上げます。

紛失した学校及び文書でございますが、鹿本小学校でございます。紛失した文書は、平成27年度卒業から令和2年度在籍児童15名分の「指導要録の指導に関する記録様式2」及び児童2名分の「保健関係文書」でございます。このうち1名にしましては、指導に関する記録と保険関係文書、両方がなくなりましたので、併せて合計16名ということでございます。

経過でございますけれども、8月4日（火曜日）に養護教員が、転入児童の保健関係文書が届いてないということで、関係する教員に確認したところ、耐火金庫で保管していたという記憶があったため、搜索いたしましたが見つからないということで、校長に報告し発覚いたしました。

5日には全教職員で、文書等を一齐点検いたしました。しかしながら、当該の文書は見つからず、さらに27年度卒業から現在まで在籍児童の転入の児童16名分の指導要録及び保健関係文書が紛失していることが判明し、教育委員会へ報告があったものでございます。

6日には教育委員会が事情聴取を行いました。この事情聴取につきましては、今後も継続して行ってまいります。

紛失の原因でございますが、これにつきましては、誤って廃棄した可能性が高いと考えてございます。と申しますのは、そもそも指導要録の指導に関する記録並びに保健関係文書につきましては、学校外に持ち出す必要のない文書でございますし、万が一必要が生じた場合であっても、これは校長の許可を取る必要がございます。さらに加えて申し上げれば、この指導に関する記録、保健関係文書につきましては、持ち出しの許可申請があった場合でもこれは学校の文書取扱いの中で、校外に持ち出してはならない文書ということで、校長が許可をしない文書となっております。したがって、今現在、紛失している原因といたしましては、誤って廃棄してしまった可能性が高いと考えているところでございます。

学校の対応といたしましては、8月14日（金曜日）臨時保護者会を開催いたしまして、経緯の説明と謝罪を行ったところでございます。

今後の区教育委員会の対応といたしましては、各学校に対しまして、改め

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>て文書管理の徹底について通知をいたします。並びに、指導要録の管理状況について今後調査をする予定でございます。また加えまして、指導要録等の保管方法につきましては、現在の方法からより紛失の危険性のないような方法に、保管の方法を検討してまいります。</p> <p>ご報告は以上でございます。</p>                                                                                                                                                                           |
| 教 育 長   | <p>ありがとうございます。ただいまの件に関しまして、何かご質問、ご意見などはございますか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 古 巻 委 員 | <p>臨時保護者会は特段紛糾するとか、何かそういうことはなかったのでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 指 導 室 長 | <p>この臨時保護者会でございますが、全校児童の保護者に開催を呼びかけましたところ、約40名の保護者が参加したとのことです。その際でも学校の説明に対しては特段紛糾のようなこともなく、質問といたしましては、なくなってしまったということに対して、保管方法について、要はなくなるようなシステムを検討してほしいという、質問というよりもご意見があったということでございます。</p> <p>なお、当日参加された保護者からアンケートという形で、その場でご質問等は頂けなかった場合でもあってもご意見等があればお書きくださいということで、当日アンケートを取らせていただきましたが、特段学校を責め立てるような、そういったお言葉はございませんでした。</p> |
| 古 巻 委 員 | <p>一般紙の記事で、学校名は出ていなかったような気がしたのですが。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 指 導 室 長 | <p>区の広報では学校名も併せて公表してございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 石 井 委 員 | <p>誤って破棄してしまった可能性が高いということですが、この文書が記されている紙についてお伺いしたいのですが、紙質は重なりやすいものでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 指 導 室 長 | <p>これは学校ごとに一般の上質紙程度のもので年度ごとに印刷して、ファイルに綴じて保管していました。これは、転入してきた児童の前籍校から送られてきた記録の写しを、本年度の児童分の後ろにつけて、併せて保管するのですが、年度がかわると、その年度の記載内容を校務支援システム上で追記</p>                                                                                                                                                                                  |

|         |                                                                                                                                                                                                                     |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>したものを改めて打ち出し、これを差し替える作業をします。この差し替える際に、本来なら転入児童に関しては前籍校のものを指し直して、古いものを廃棄するという作業を行うのですが、ここで考えられるのは、新年度のものを打ち出して、新しいものを差し替えずに、前年度のものをそのまま廃棄してしまったという可能性が高いという考えでございます。</p>                                          |
| 石 井 委 員 | <p>ありがとうございます。</p>                                                                                                                                                                                                  |
| 古 巻 委 員 | <p>転入児童の関係文書ですけれども、元の学校に写してみたいなものはありますか。</p>                                                                                                                                                                        |
| 指 導 室 長 | <p>鹿本小学校に届いているのは全て写してございますので、原本は前籍校にございます。したがって、今回の紛失した児童の様式につきましては、改めて前籍校に連絡を取って、改めて写しを送付していただくということになります。</p>                                                                                                     |
| 古 巻 委 員 | <p>そういうことですね。分かりました。</p>                                                                                                                                                                                            |
| 教 育 長   | <p>よろしいでしょうか。</p> <p>他になれば、ただいまの報告事項を承認いたします。</p> <p>次に、教職員の人事についての報告にまいります。</p> <p>この報告事項は、人事に関する案件であるため、江戸川区教育委員会会議規則第13条に定める秘密会により審議したいと思います。この発議に賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">〔賛成者挙手〕</p> |
| 教 育 長   | <p>賛成多数と認めます。これより会議は秘密会となります。</p> <p style="text-align: center;">〔秘密会〕</p>                                                                                                                                          |
| 教 育 長   | <p>以上をもちまして、令和2年第16回教育委員会定例会を終了します。</p> <p>閉会時刻 午後3時41分</p>                                                                                                                                                         |